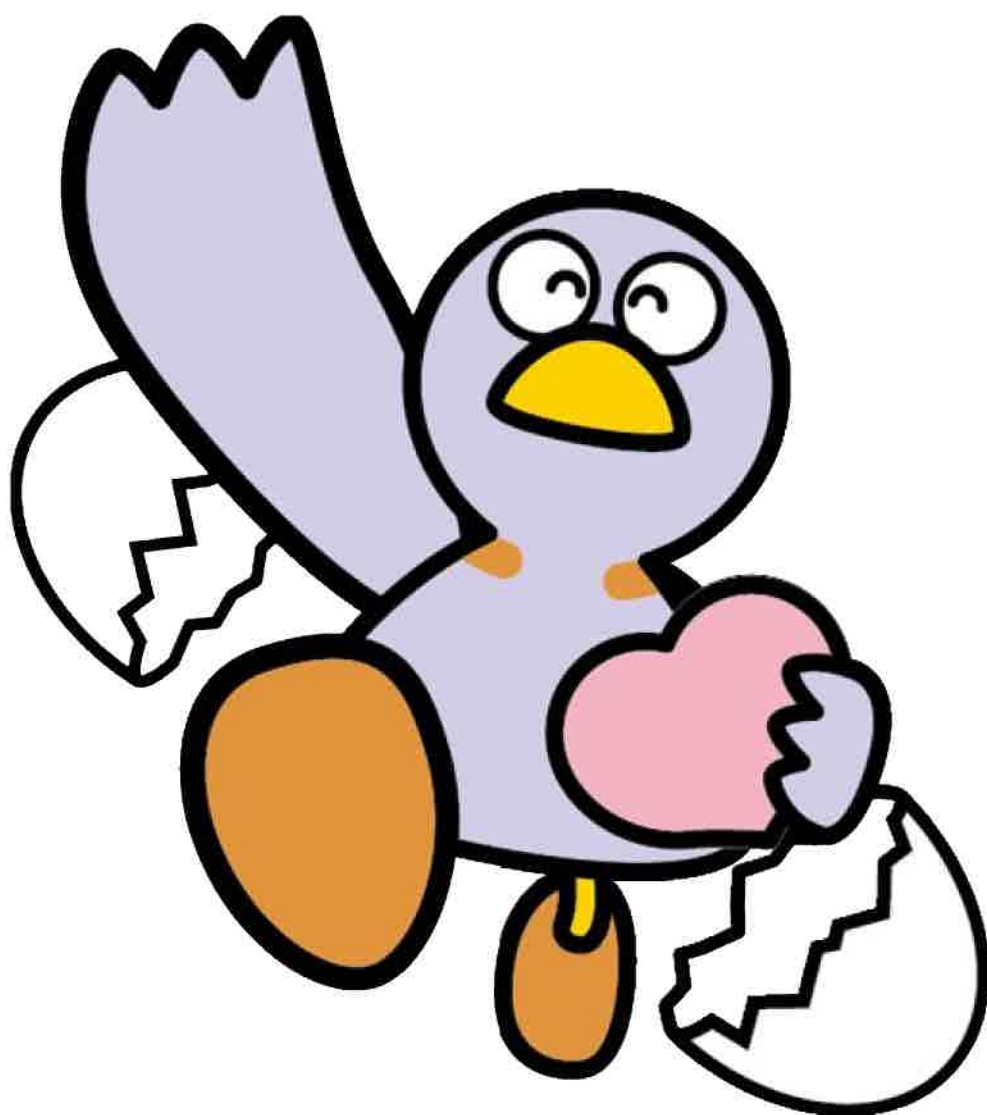


令和6年度調査研究事業
男女共同参画社会に関する意識調査



埼玉県男女共同参画推進センター

令和7年3月

目 次

1 調査の概要	P3
2 調査の結果(全体版)	P4
3 調査分析	
(1)男女別・年齢別分析	P10
(2)講座別分析	P28
4 男女共同参画を推進するための御意見、 埼玉県に期待すること(自由記述)	P36
5 まとめ	P39
6 参考	
(1) 集計データ	P41
(2) アンケート調査票	P62
(3) 調査を実施した各講座のチラシ	

1 調査の概要

「男女共同参画社会」について今後の施策検討の参考にすることを目的に、埼玉県男女共同参画推進センターが主催した以下の4講座に会場に参加した方を対象に「男女共同参画社会に関するアンケート調査」を実施した。

開催日	調査対象とした講座	対象者	参加人数 (会場)	アンケート 回答者数	アンケート 回収率	性別
令和6年 10月5日 (土)	男性によるトークセッション 「男らしさ」と男尊女卑依存症社会(対談) 講師:武田砂鉄さん(ライター) 齊藤章佳さん (精神保健福祉士/社会福祉士)	一般県民	109	99	90.8%	女性 73.7% 男性 22.2% その他 1.0% 回答 しない 3.0%
令和6年 10月21日 (月)	ジェンダー主流化トップセミナー ○埼玉県におけるジェンダー主流化の推進 埼玉県知事 大野元裕 ○ジェンダー主流化に向けた課題 ージェンダー平等と多様性/ ダイバーシティの推進に向けてー 講師:萩原なつ子さん (独立行政法人国立女性教育会館理事長) (立教大学名誉教授)	県内企業・ 事業所の 経営者、管 理職の方、 市町村等	86	78	90.7%	女性 38.5% 男性 60.3% 回答 しない 1.3%
令和6年 11月28日 (木)	ジェンダー主流化実務者向けセミナー ○埼玉県の取組について ①事業点検の試行及び全庁展開について 埼玉県 人権・男女共同参画課 災害対策課 農業支援課 公園スタジアム課 ②取組に対するコメント 齋藤有希さん (JICA/バングラデシュ事務所社会開発班) ○企業の取組について 柴野壮史さん (白十字(株)商品開発部マーケティング部 ヘルスケアブランディング課課長)	民間企業・ 事業所・市 町村等で 事業の企 画運営を 行う実務 者	32	20	62.5%	女性 30.0% 男性 65.0% 回答 しない 5.0%
令和7年 2月2日 (日)	With You さいたま フェスティバル講演会 「アニメ・キャラクターのジェンダー観 ～これまでとこれから～」 講師:須川亜紀子さん (横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院教授)	一般県民	105	79	75.2%	女性 79.7% 男性 12.7% その他 1.3% 回答 しない 2.5% 無回答 3.8%
4回			332	276	83.1%	

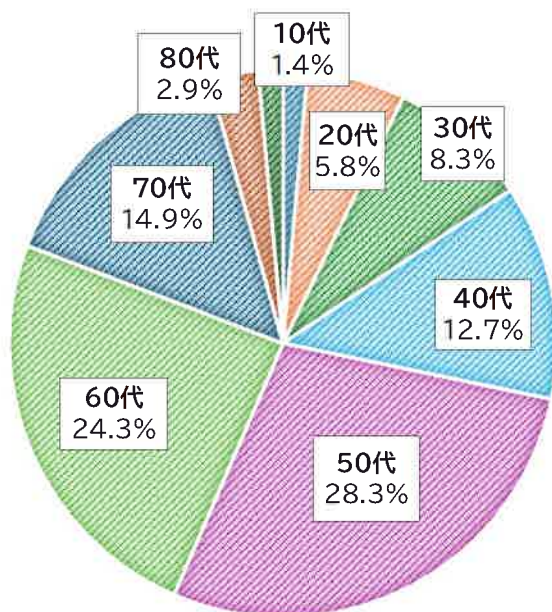
2 調査の結果(全体版)

埼玉県男女共同参画推進センターが主催した4講座のアンケート調査集計結果である。

◆ アンケート回答者数 276枚（回収率 83.1%）

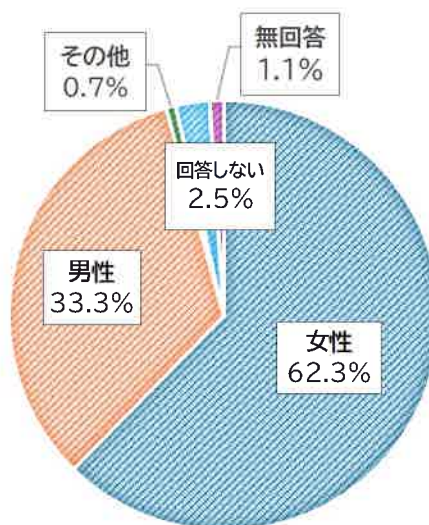
○ 年 齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答	合計
4	16	23	35	78	67	41	8	4	276
1.4%	5.8%	8.3%	12.7%	28.3%	24.3%	14.9%	2.9%	1.4%	100.0%



○ 参加者の性別

女性	172	62.3%
男性	92	33.3%
その他	2	0.7%
回答しない	7	2.5%
無回答	3	1.1%
合計	276	100.0%



問1 現在、男女の地位は平等になっていると思いますか？

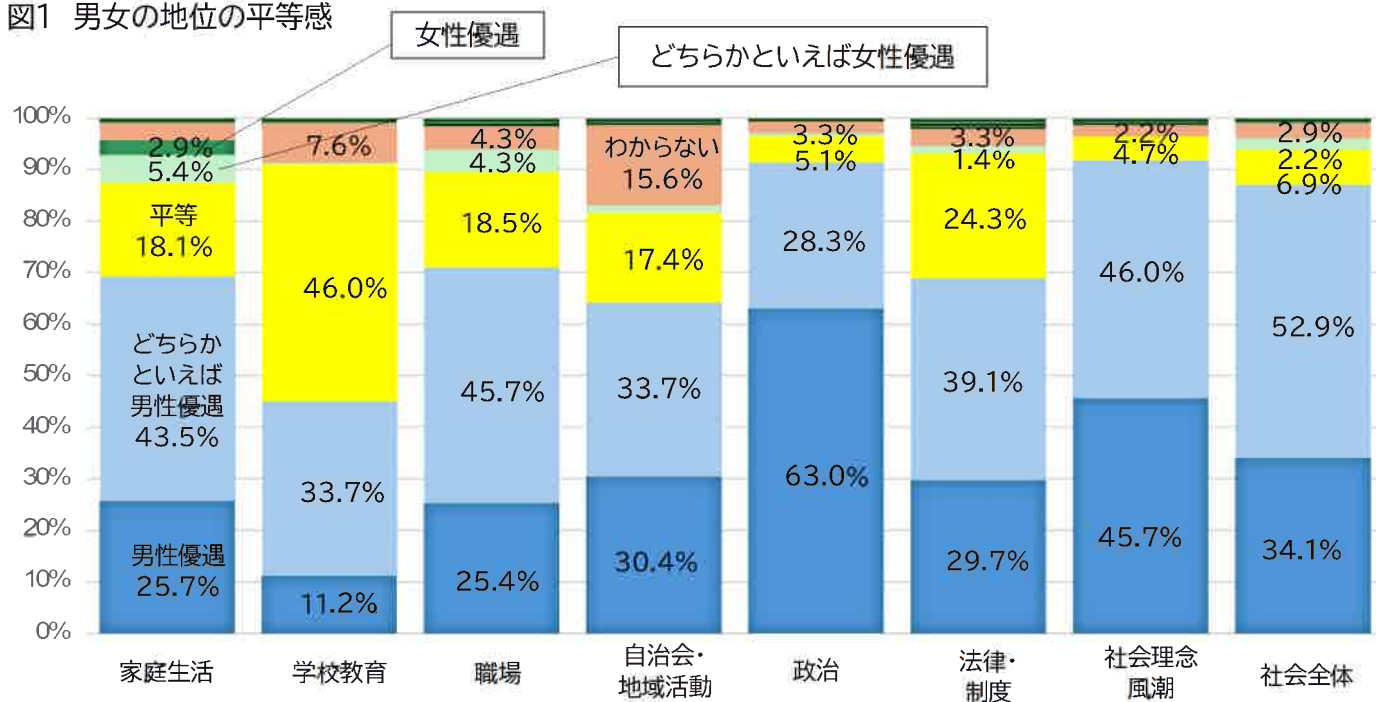
n=276

- 【学校教育】以外のすべての項目で、「男性のほうが優遇」「どちらかといえば男性のほうが優遇」が60%を超えています。
- 【政治】と【社会通念や風潮】は9割以上が「男性のほうが優遇」「どちらかといえば男性のほうが優遇」と回答しています。
- 「平等である」と回答が多かったのは、【学校教育】46.0%、次に【法律や制度】が24.3%となっています。

表1 男女の地位の平等感

	男性の ほうが優遇	どちらかといえば男 性のほうが優遇	平等である	どちらかといえ ば女性のほうが優遇	女性のほう が優遇	わから ない	無回答
家庭生活	71 25.7%	120 43.5%	50 18.1%	15 5.4%	8 2.9%	9 3.3%	3 1.1%
学校教育 (学習、進学等)	31 11.2%	93 33.7%	127 46.0%	1 0.4%	0 0.0%	21 7.6%	3 1.1%
職場	70 25.4%	126 45.7%	51 18.5%	12 4.3%	0 0.0%	12 4.3%	5 1.8%
自治会や 地域活動	84 30.4%	93 33.7%	48 17.4%	4 1.4%	0 0.0%	43 15.6%	4 1.4%
政治	174 63.0%	78 28.3%	14 5.1%	2 0.7%	0 0.0%	6 2.2%	2 0.7%
法律や制度	82 29.7%	108 39.1%	67 24.3%	4 1.4%	0 0.0%	9 3.3%	6 2.2%
社会通念や風潮 (習慣・しきたり)	126 45.7%	127 46.0%	13 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 2.2%	4 1.4%
社会全体	94 34.1%	146 52.9%	19 6.9%	6 2.2%	0 0.0%	8 2.9%	3 1.1%

図1 男女の地位の平等感



問2 「男性は仕事、女性は家庭」「男性がリーダー、女性はアシスタント」といったように、性別の特性によって役割を固定したり、決めつけたりすることについて、どのように考えますか？

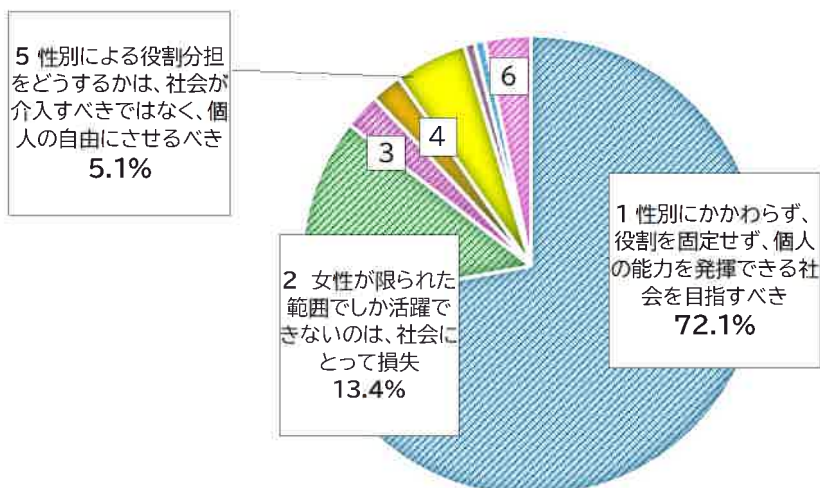
(1つだけ選択) n=276

- 男女の役割分担については、7割以上が「性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである。」と回答しています。次に多いのが、「少子高齢社会において、女性が限定された範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失である」(13.4%)となっています。
- 一方で、「性別による役割分担をどうするかは、社会が介入すべきではなく、個人の自由にさせるべきだ」(5.1%)、「男女の特性に基づいた性別役割分担をしたほうが効率が良い分野がある」(2.5%)、「男女の特性に基づいた性別役割分担は、日本の伝統であると思う。」(2.2%)との回答も約1割ありました。

表2 性別役割分担意識

1	性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである。	199	72.1%
2	少子高齢社会において、女性が限定された範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思う。	37	13.4%
3	男女の特性に基づいた性別役割分担をした方が効率が良い分野がある。	7	2.5%
4	男女の特性に基づいた性別役割分担は、日本の伝統であると思う。	6	2.2%
5	性別による役割分担をどうするかは、社会が介入するべきではなく、個人の自由にさせるべきだ。	14	5.1%
6	性別による固定的役割分担は存在しないと思う。	2	0.7%
7	その他	2	0.7%
8	考えたことがない	0	0.0%
9	無回答	9	3.3%

図2 性別役割分担意識



問3 あなたは、今後どのような分野で、特に女性の参画が進むべきだと思いますか？

(いくつでも:複数回答) n=276

- 今後、特に女性の参画が進むべき分野としては、「国会、県議会、市町村議会等の議員」(85.9%)、「企業の管理職、労働組合の幹部」(72.5%)、「国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職」(70.7%)が高くなっています。

表3 特に女性の参画が進むべき分野

1	国会、県議会、市町村議会等の議員	237	85.9%
2	国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職	195	70.7%
3	弁護士、医師などの専門職	145	52.5%
4	自治会、PTAなどの役員	122	44.2%
5	企業の管理職、労働組合の幹部	200	72.5%
6	国連などの国際機関	117	42.4%
7	建設業などの女性が少ないと言われている職場	103	37.3%
8	農林水産業従事者	80	29.0%
9	理工系などの女性が少ないと言われている分野の学生	131	47.5%
10	大学、研究所などの研究者	127	46.0%
11	農林業団体などの役職	90	32.6%
12	その他	19	6.9%
13	無回答	8	2.9%

12 その他の内容

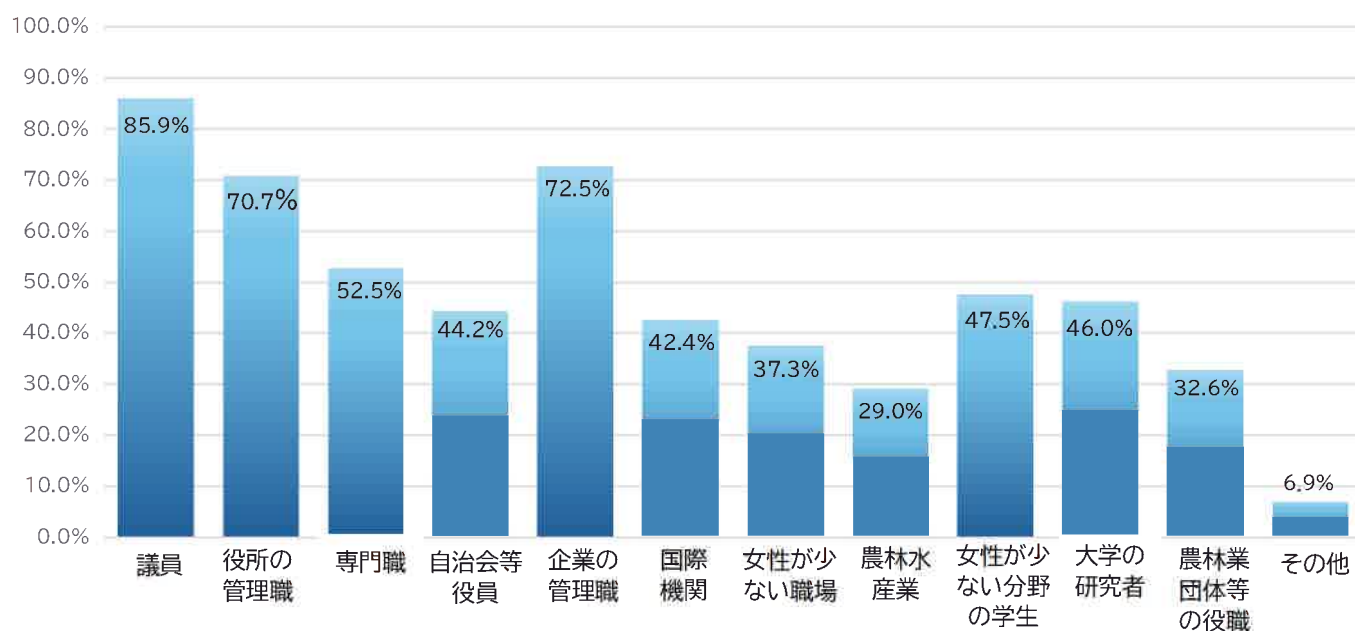
○ 中高教員、工業系の職場、企業経営者、能力が発揮できる分野

○ あらゆる場面で男女平等がいい、基本はすべて

○ すべて:3

○ 町づくり

図3 特に女性の参画が進むべき分野



問4 今後、男性も女性も、ともに社会のあらゆる分野にバランスよく積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか？(特に必要だと思うこと3つまで選択) n=276

- 今後、男性も女性も、あらゆる分野にバランスよく積極的に参画していくためには、4割以上が「男女の固定的な役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」、「法律や制度上の見直しを行い、性別による差別につながるものを改めること」、「こどもの時から家庭や学校で男女共同参画について教えること」が必要であると回答しています。

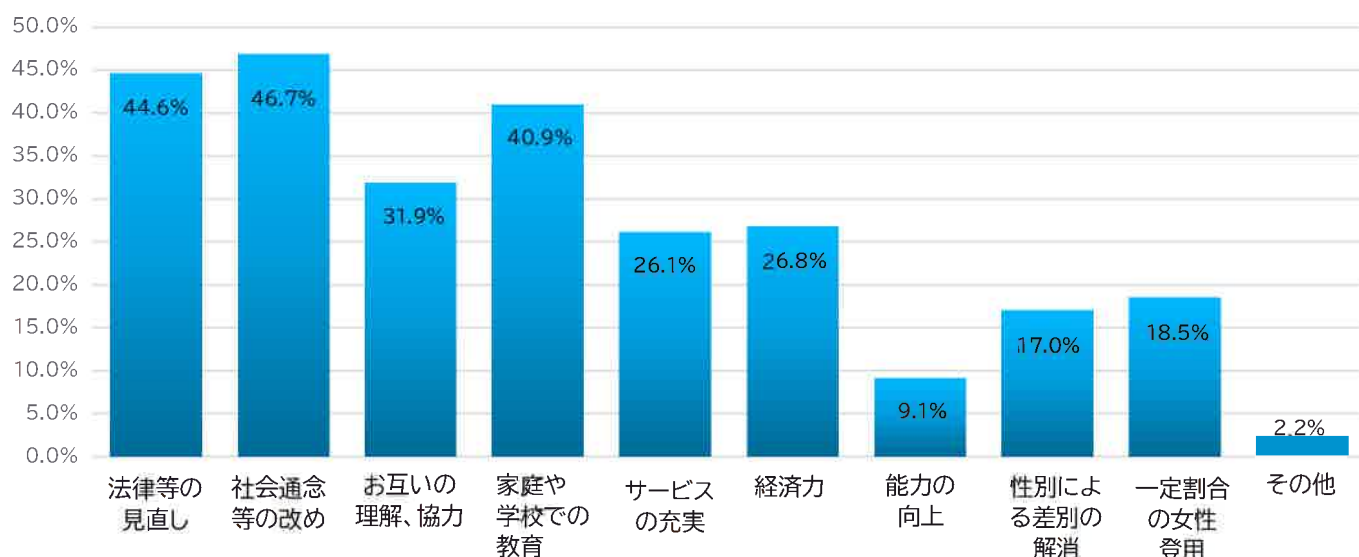
表4 男女共同参画社会実現のために必要なこと

1	法律や制度上の見直しを行い、性別による差別につながるものを改めること	123	44.6%
2	男女の固定的な役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	129	46.7%
3	男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力すること	88	31.9%
4	こどもの時から家庭や学校で男女共同参画について教えること	113	40.9%
5	男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実を図ること	72	26.1%
6	男性も女性も経済力を持つこと	74	26.8%
7	知識・技術の習得など、積極的に能力の向上を図ること	25	9.1%
8	就労の場や待遇に性別による差別がないようにすること	47	17.0%
9	行政や企業などの重要な役職など女性の少ない分野に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	51	18.5%
10	その他	6	2.2%
11	無回答	15	5.4%

10 その他の内容

- 女性がロールモデルとできるような女性リーダー、女性社長などのドラマの主人公やキャラクターなどをつくり、目にする機会を増やす。
- 設問1～9すべて
- 従来の年功序列の給料体系を改め、若い人や就労年数の少ない人でも十分に生活できる収入を得ることが出来るようにする。
- 正社員と非正規の収入の差をなくし、安心して暮らせるという意識を持てることが必要である。
- 男性が男性優位社会だということをきちんと理解すること
- 繰り返し学ぶ機会を多くつくる→意識、考え方を改める。
- すべてにプラスして、性の多様性の観点を入れる。
- リスキリングを進める。

図4 男女共同参画社会実現のために必要なこと



問5 次の法令や言葉について、該当するものを選んでください。

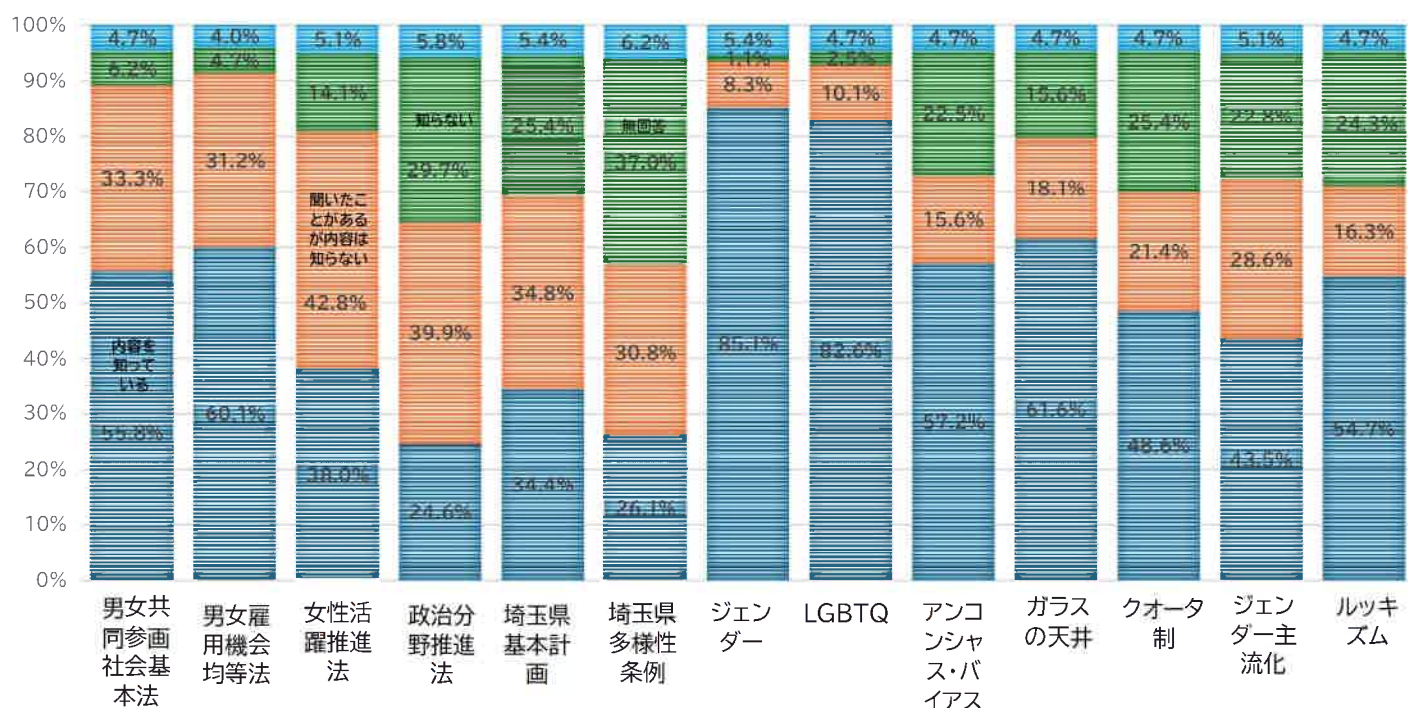
n=276

- 【ジェンダー】と【LGBTQ】については、8割以上が「内容を知っている」と回答しており、認知度が高くなっています。
- 【政治分野における男女共同参画の推進に関する法律】と【埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例】については、「内容を知っている」が約4分の1にとどまっています。
- 【ジェンダー主流化】は、「内容を知っている」(43.5%)よりも「聞いたことがあるが、内容は知らない」「知らない」(51.4%)が上回っています。

表5 男女共同参画に関する言葉の認知度

		内容を 知っている		聞いたことがあるが、 内容は知らない		知らない		無回答	
1	男女共同参画社会基本法	154	55.8%	92	33.3%	17	6.2%	13	4.7%
2	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法)	166	60.1%	86	31.2%	13	4.7%	11	4.0%
3	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)	105	38.0%	118	42.8%	39	14.1%	14	5.1%
4	政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	68	24.6%	110	39.9%	82	29.7%	16	5.8%
5	埼玉県男女共同参画基本計画	95	34.4%	96	34.8%	70	25.4%	15	5.4%
6	埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例	72	26.1%	85	30.8%	102	37.0%	17	6.2%
7	ジェンダー	235	85.1%	23	8.3%	3	1.1%	15	5.4%
8	LGBTQ	228	82.6%	28	10.1%	7	2.5%	13	4.7%
9	アンコンシャス・バイアス	158	57.2%	43	15.6%	62	22.5%	13	4.7%
10	ガラスの天井	170	61.6%	50	18.1%	43	15.6%	13	4.7%
11	クオータ制	134	48.6%	59	21.4%	70	25.4%	13	4.7%
12	ジェンダー主流化	120	43.5%	79	28.6%	63	22.8%	14	5.1%
13	ルッキズム	151	54.7%	45	16.3%	67	24.3%	13	4.7%

図5 男女共同参画に関する言葉の認知度



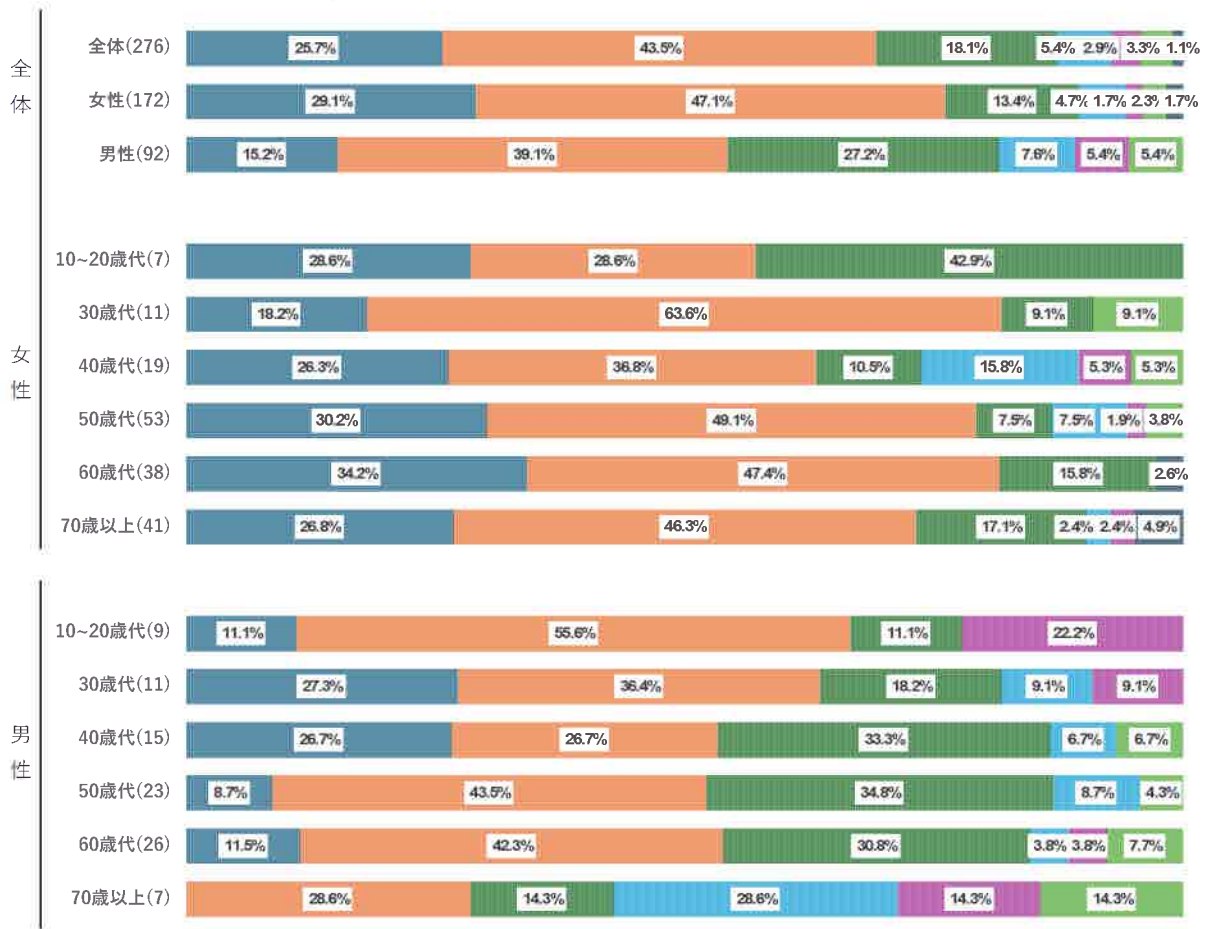
3 調査分析

(1)男女別・年齢別分析

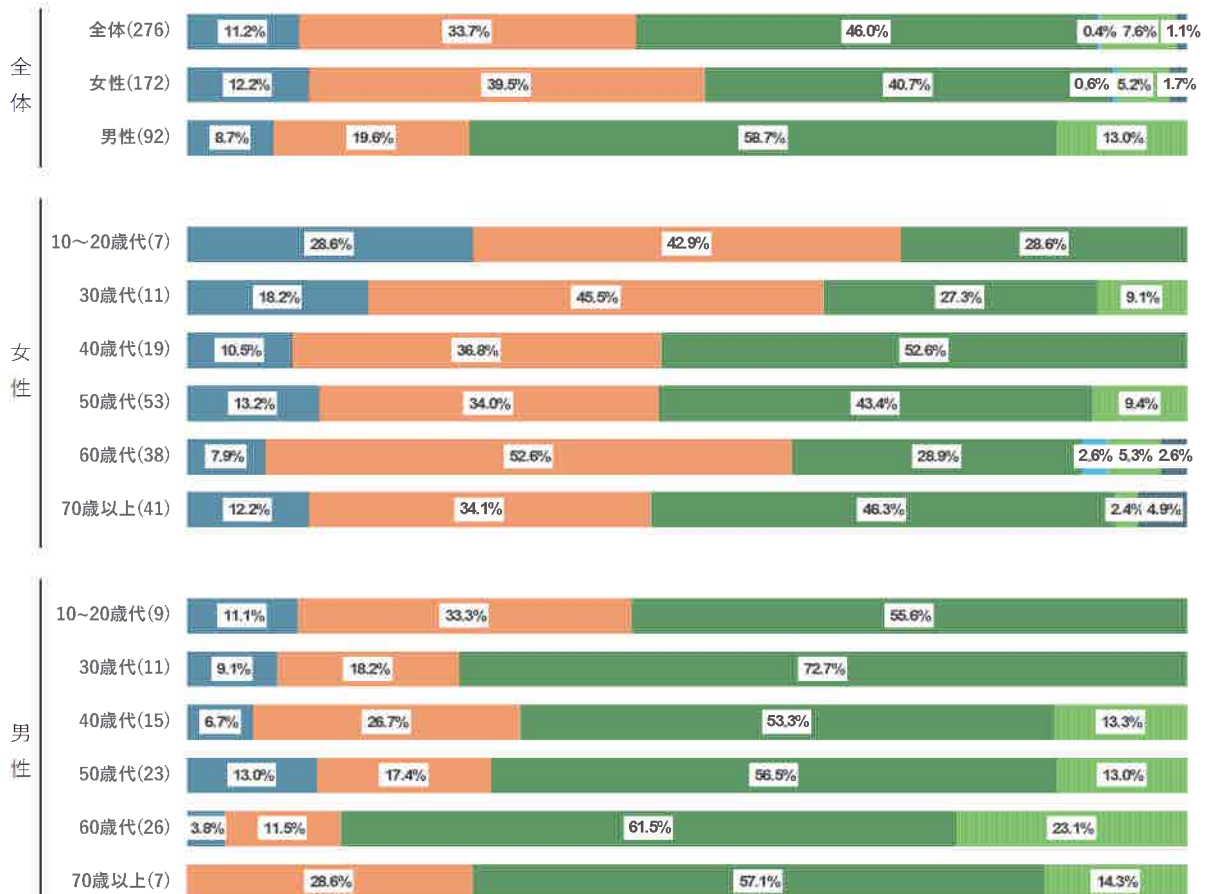
【図1-1】男女の地位の平等感

■ 男性の方が優遇 ■ どちらかといえば男性優遇 ■ 平等になっている
■ どちらかといえば女性優遇 ■ 女性の方が優遇 ■ わからない
■ 無回答

家庭生活

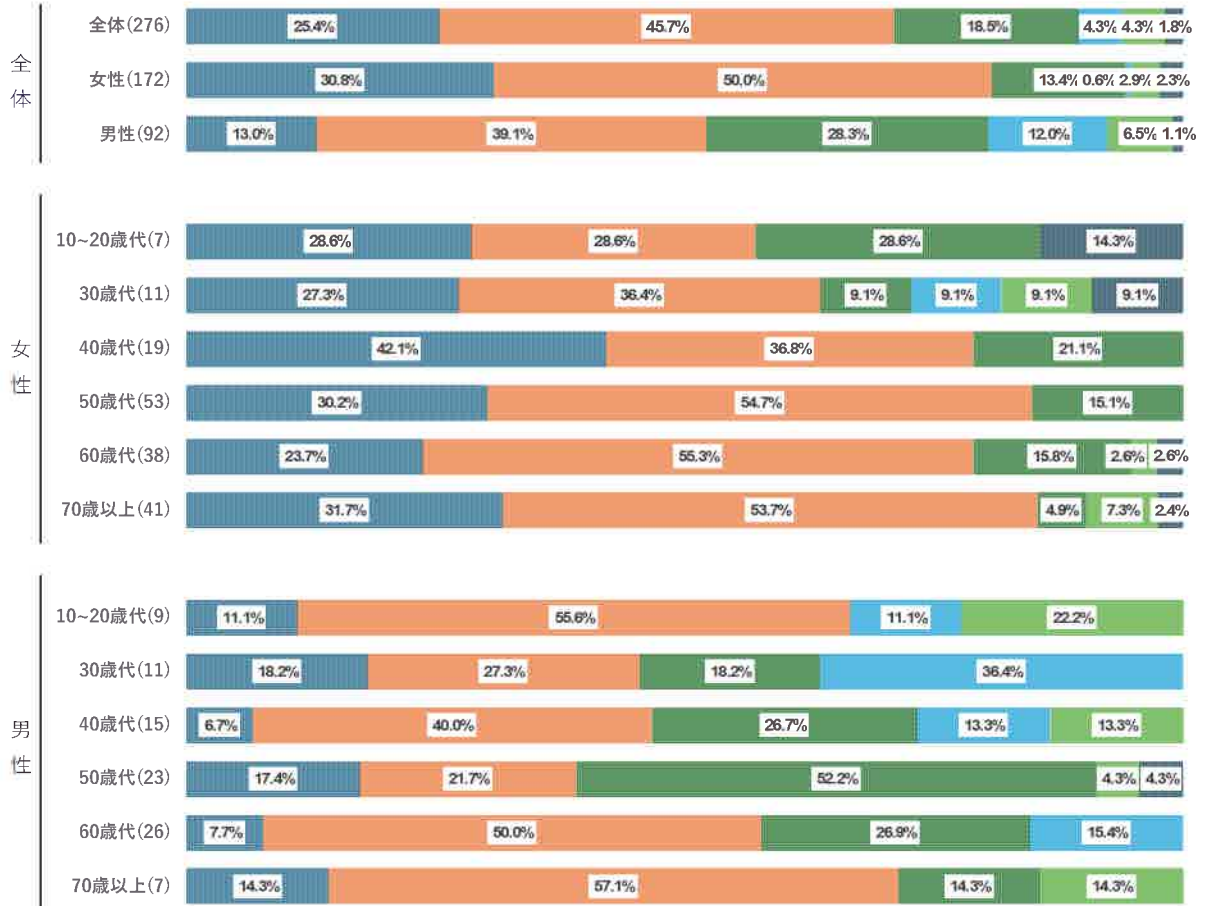


学校教育（学習、進学等）

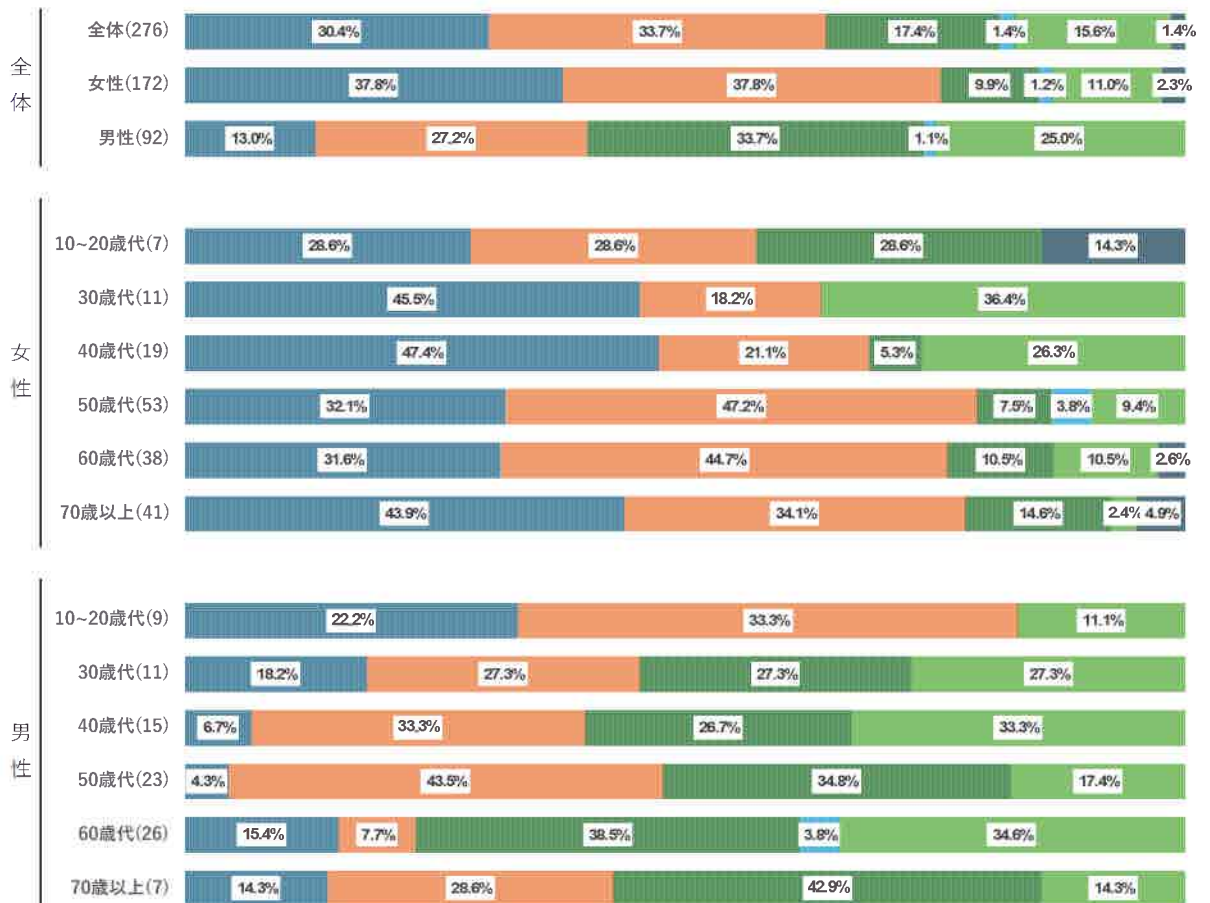


■ 男性の方が優遇 ■ どちらかといえば男性優遇 ■ 平等になっている
 ■ どちらかといえば女性優遇 ■ 女性の方が優遇 ■ わからない
 ■ 無回答

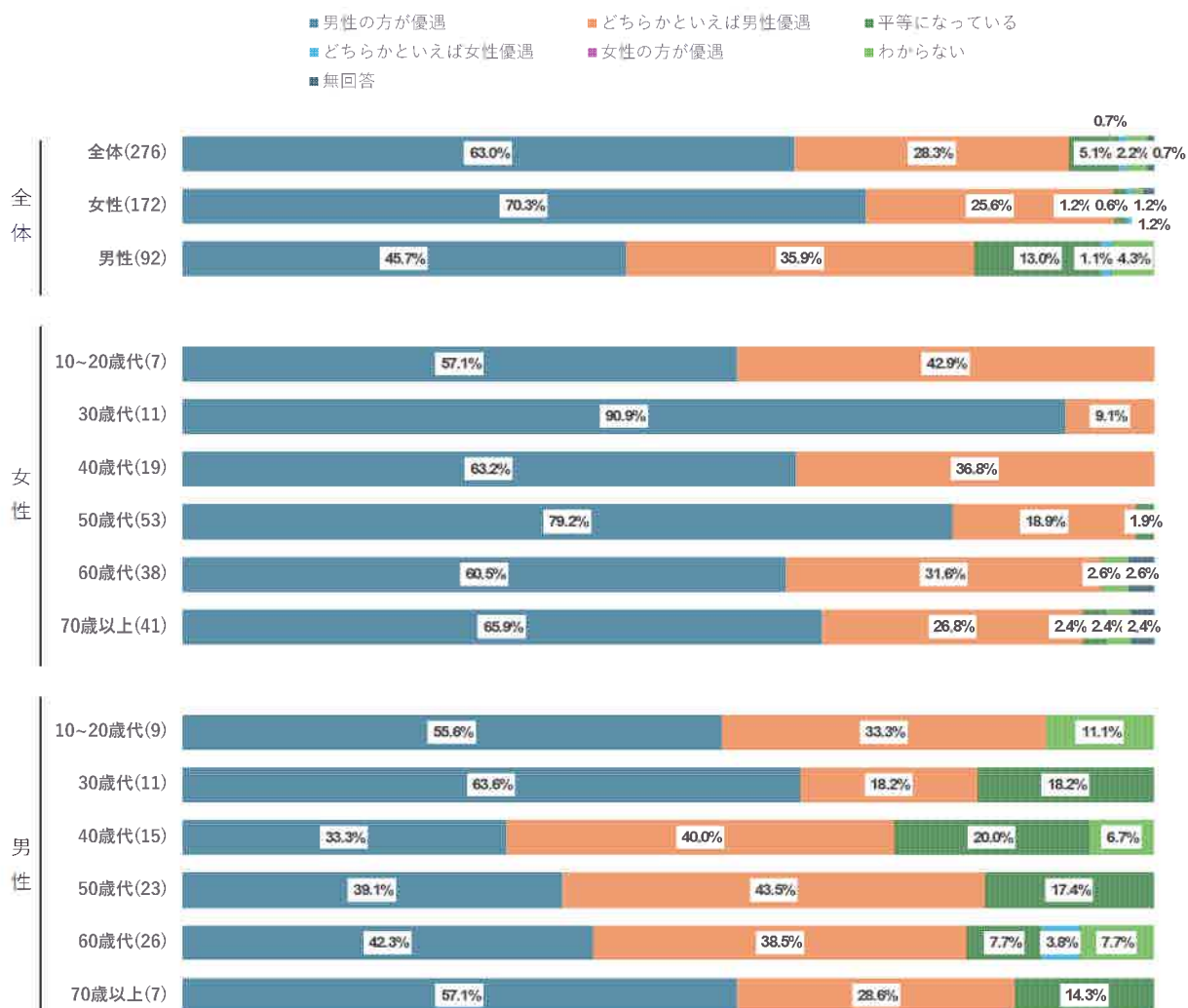
職場



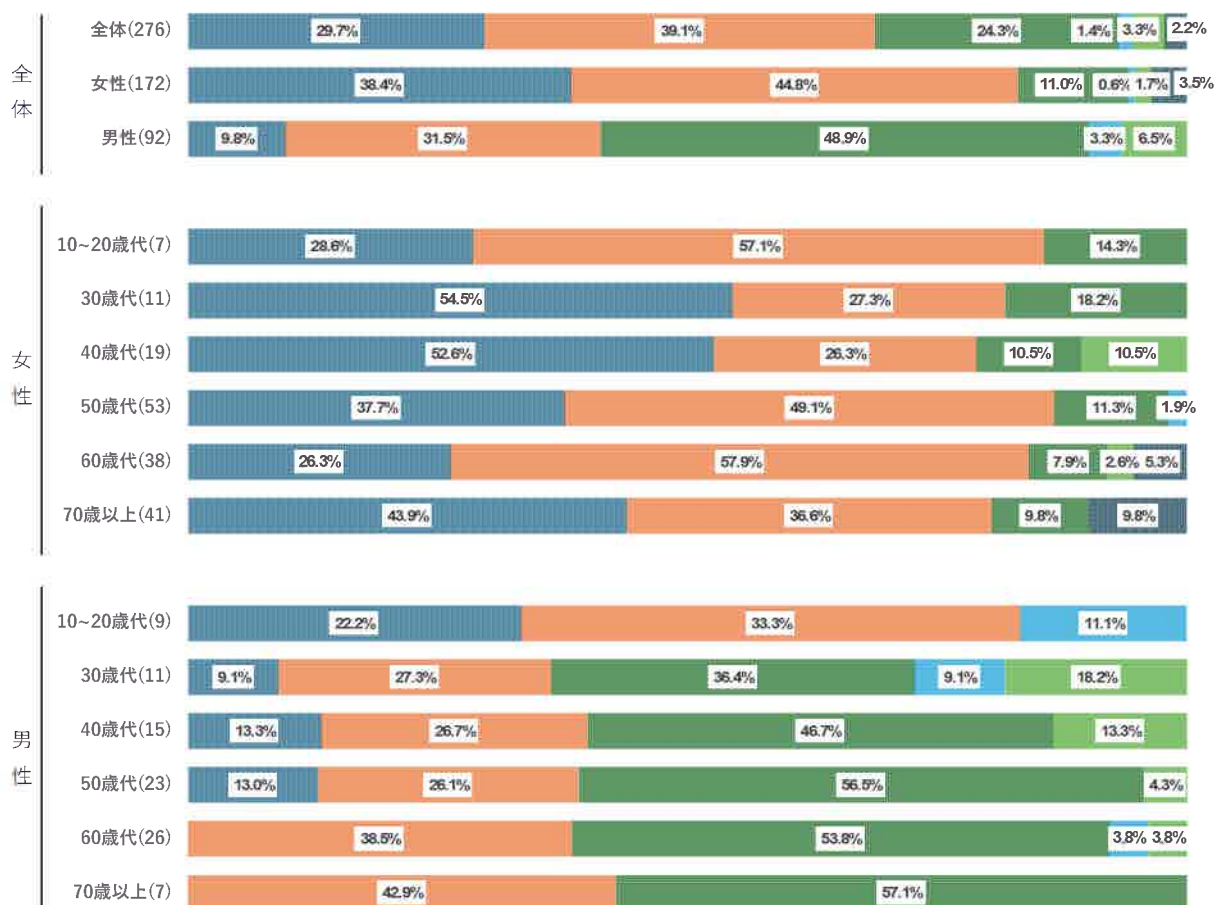
自治会や地域活動



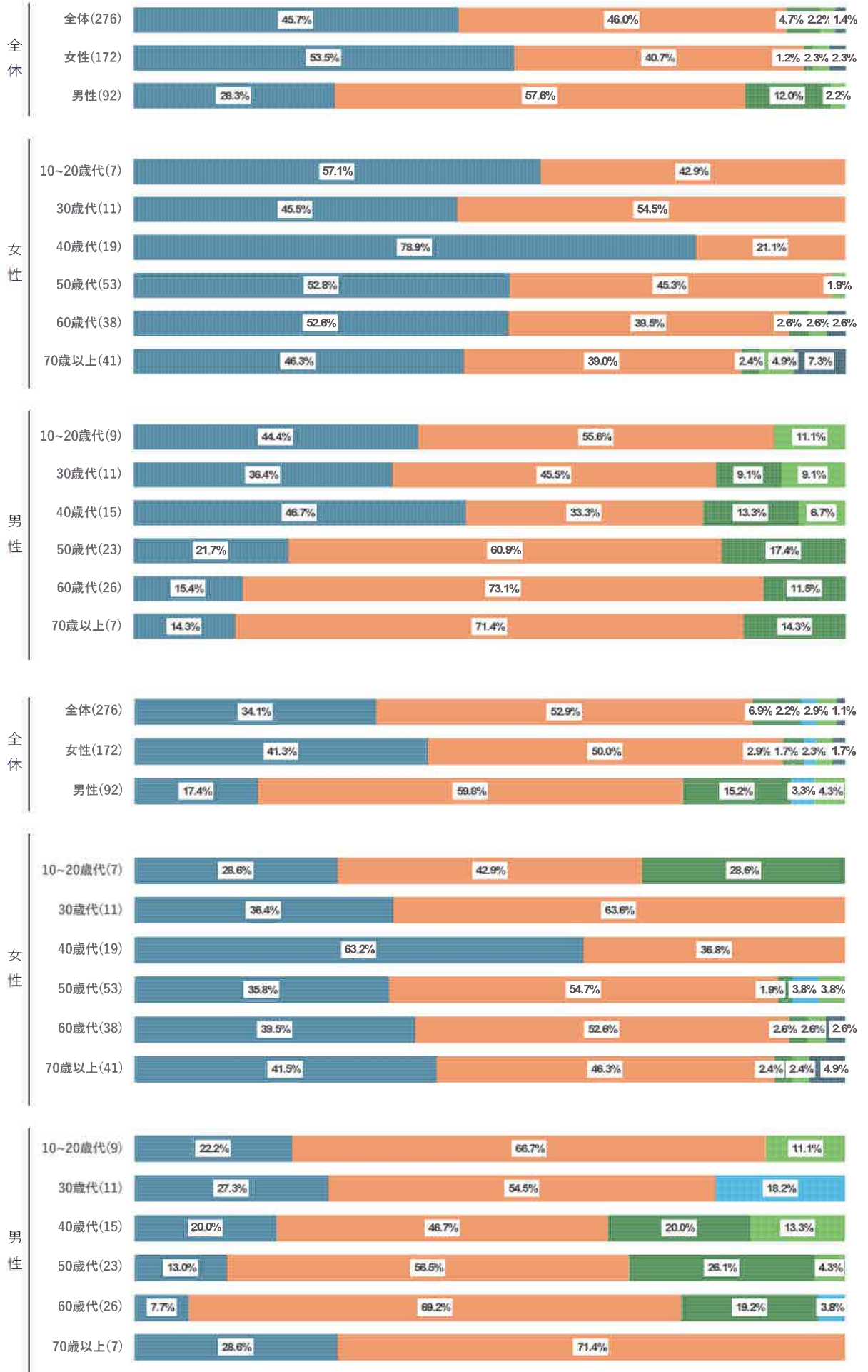
政治



法律や制度



■ 男性の方が優遇 ■ どちらかといえば男性優遇 ■ 平等になっている
 ■ どちらかといえば女性優遇 ■ 女性の方が優遇 ■ わからない
 ■ 無回答



男女別でみると、女性はすべての分野において「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性優遇」が7割を超えており、特に【政治】95.9%、【社会通念や風潮】94.2%、【社会全体】91.3%で9割を超えています。

男性はすべての分野で「平等になっている」が女性よりも高くなっています。

【家庭生活】

「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」で女性は76.2%、特に30歳代で81.8%、60歳代で81.6%と8割を超えており、他の年代に比べて高くなっています。男性では「平等になっている」が40歳代で33.3%、50歳代で34.8%、60歳代で30.8%となっており、70歳以上では「女性の方が優遇」「どちらかといえば女性優遇」が42.9%となっています。

【学校教育（学習、進学等）】

「平等になっている」が女性では40.7%、男性では58.7%で、他の分野よりも高くなっています。特に男性では、すべての年代で5割を超えています。（男性：10～20歳代55.6%、30歳代72.7%、40歳代53.3%、50歳代56.5%、60歳代61.5%、70歳以上57.1%）

【職場】

「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」が女性では80.8%で、男性とは28.7ポイント差になっています（男性52.1%）。特に女性は50歳代（94.7%）と70歳以上（85.4%）で高くなっています。

男性は「平等になっている」が28.3%で、特に50歳代で最も高く52.2%となっています。

【自治会や地域活動】

「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」は女性で75.6%、男性で40.2%で、男女の差は35.4ポイントになっています。特に女性では50歳代が79.3%で最も高くなっています。

男性は50歳代～70歳以上は「平等になっている」が3割を超えており、70歳以上では42.9%になっています。

【政治】

「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性優遇」は女性で95.9%、男性で81.6%で、女性・男性ともにすべての分野で最も高くなっています。特に女性の10～20代、30歳代、40歳代で100%になっています。

【法律や制度】

「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性優遇」は女性で83.2%、男性で41.3%、男女の差は41.9ポイントになっています。男性は「平等になっている」が48.9%で、特に70歳以上は57.1%で最も高くなっています。

【社会通念や風潮（習慣・しきたり）】

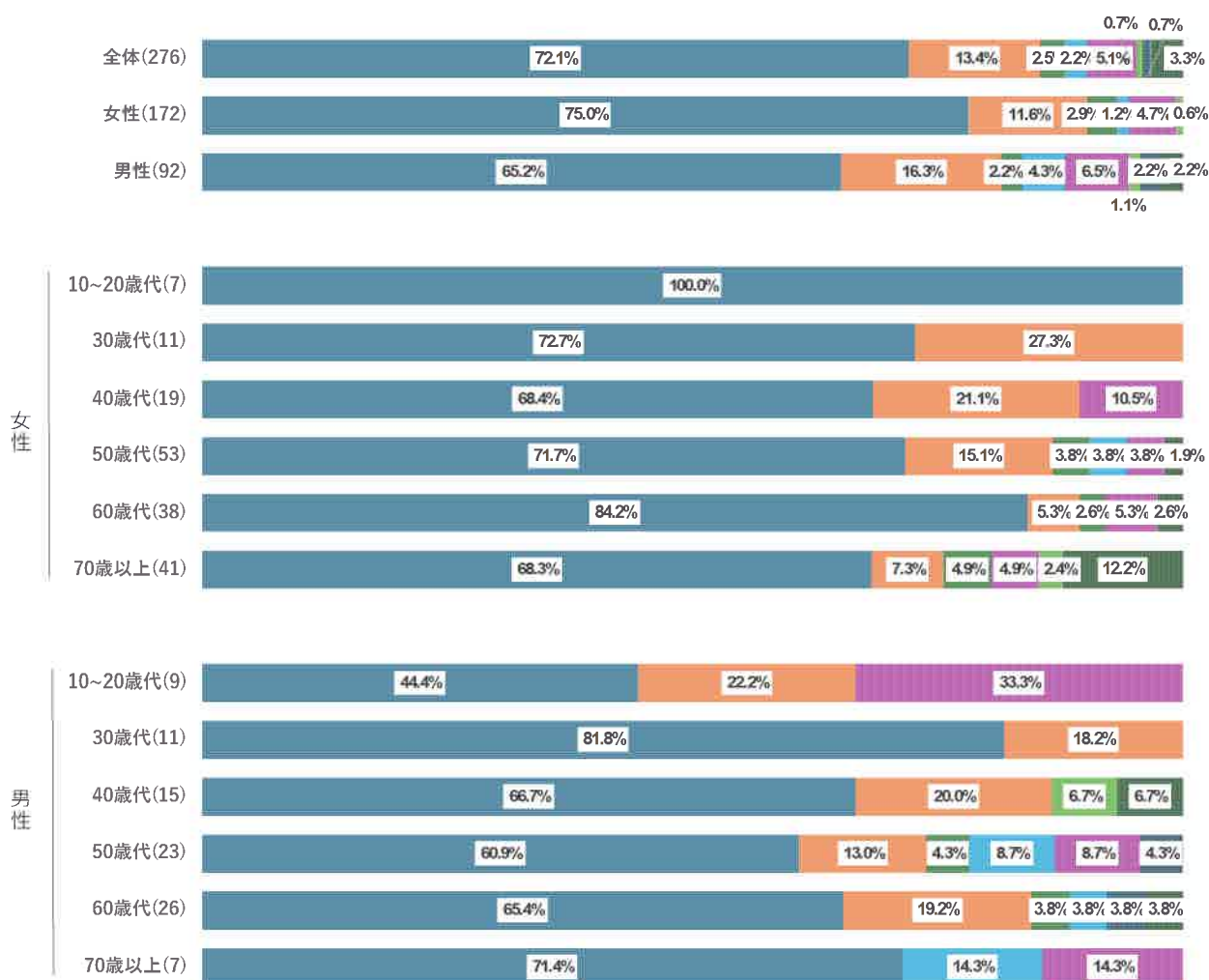
「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性優遇」は女性で94.2%で、【政治】に次いで高い数値になっています。特に10～20歳代、30代、40代は100%になっています。男性も85.9%で、すべての分野の中で一番高くなっています。

【社会全体】

「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性優遇」は女性で91.3%で、特に30歳代、40歳代は100%と高くなっています。男性は77.2%で、10～20歳代で88.9%、70歳以上で100%となっています。

【図2-1】性別役割分担意識

- 性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである。
- 少子高齢社会において、女性が限定された範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思う。
- 男女の特性に基づいた性別役割分担をした方が効率が良い分野がある。
- 男女の特性に基づいた性別役割分担は、日本の伝統であると思う。
- 性別による性別役割分担をどうするかは、社会が介入するべきではなく、個人の自由にさせるべきだ。
- 性別による固定的役割分担は存在しないと思う。
- その他
- 考えたことがない
- 無回答



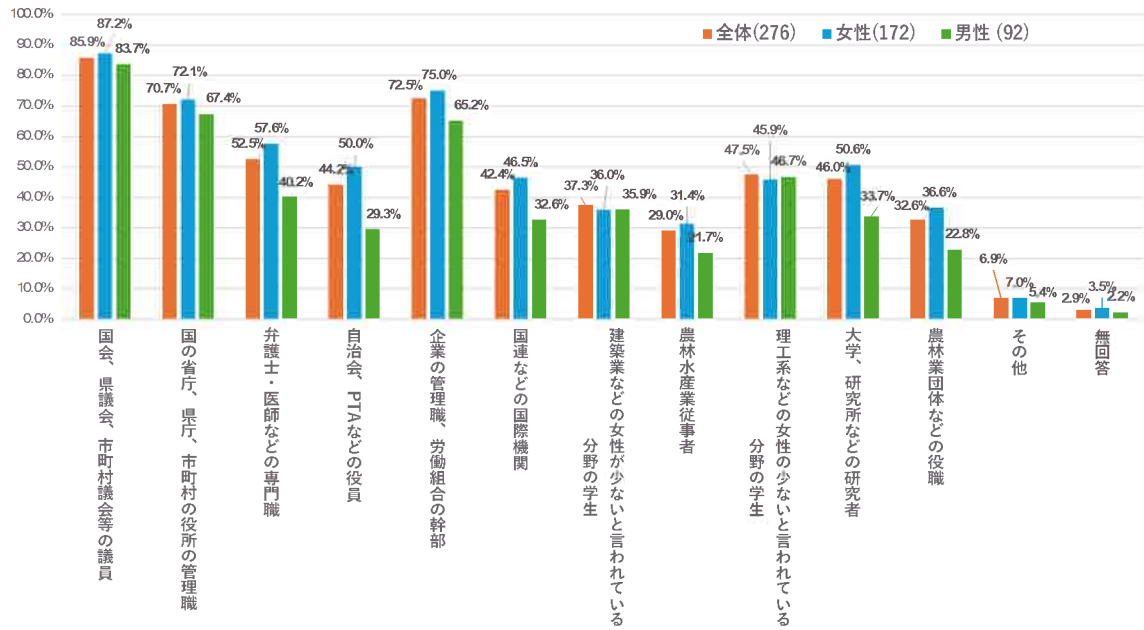
男女ともに【性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである】が最も多く、女性は75.0%、男性は65.2%になっています。次いで【少子高齢社会において、女性が限定された範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思う】が多く、女性は11.6%、男性は16.3%で、男性の方が高くなっています。

性/年代別にみると、【性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである】は女性の10~20歳代で100%と最も高くなっています。同世代の男性との差は55.6ポイント（男性/10~20歳代44.4%）です。

【少子高齢社会において、女性が限定された範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思う】は30歳代の女性（27.3%）が最も多く、次いで10~20歳代男性（44.4%）、40歳代の女性（21.1%）となっています。

【図3-1】特に女性の参画が進むべき分野

(1)男女別



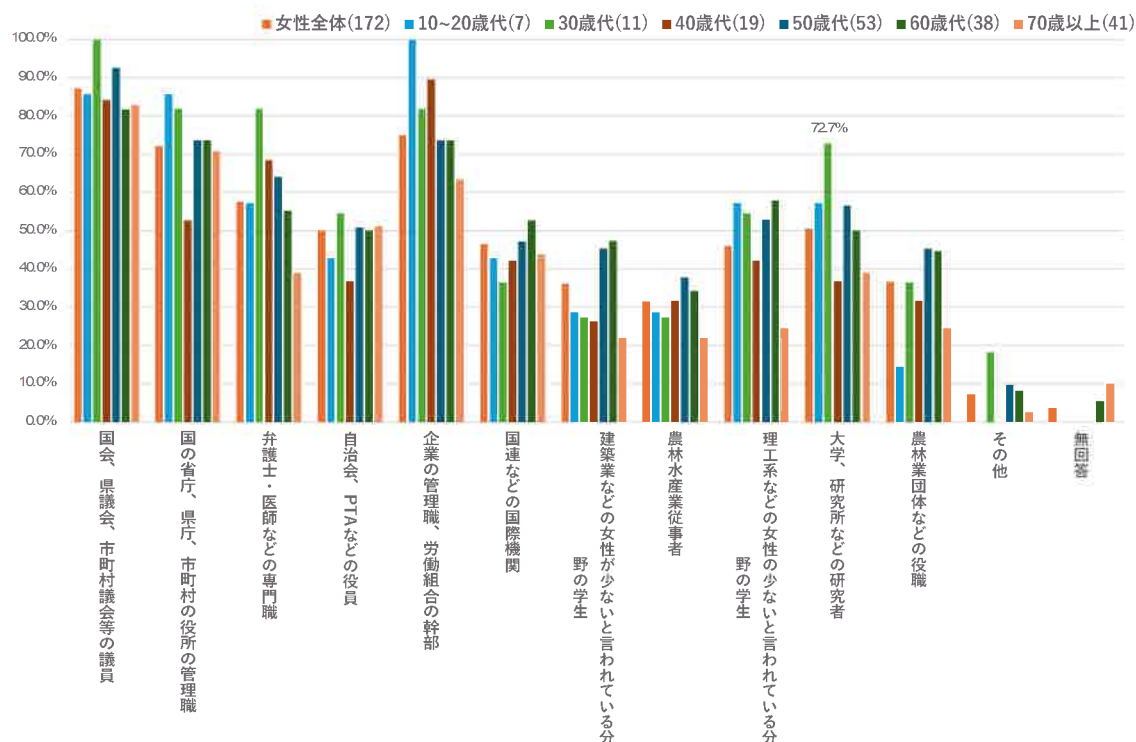
【国会、県議会、市町村議会等の議員】【企業の管理職、労働組合の幹部】【国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職】が上位3項目になっています。【国会、県議会、市町村議会等の議員】が最も多く、女性は87.2%、男性は83.7%になっています。

女性は次いで【企業の管理職、労働組合の幹部】（女性75.0%）、【国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職】（女性72.1%）の順になっています。

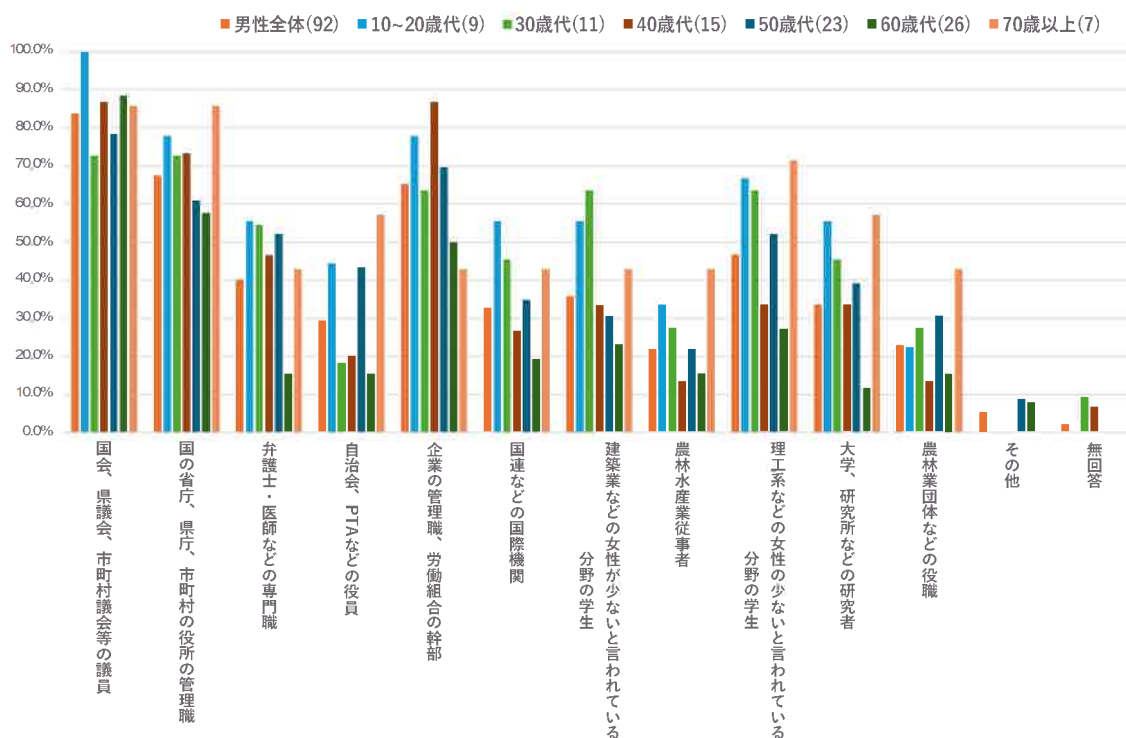
男性は【国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職】（67.4%）、【企業の管理職、労働組合の幹部】（65.2%）の順で、それぞれ女性が男性を上回っています。

男女差が大きかった3項目は【自治会、PTAなどの役員】で20.7ポイント（女性50.0%、男性29.3%）、【弁護士・医師などの専門職】で17.4ポイント（女性57.6%、男性40.2%）、【大学、研究所などの研究者】で16.9ポイント（女性50.6%、男性33.7%）になっています。

(2)女性・年齢別



(3)男性・年齢別

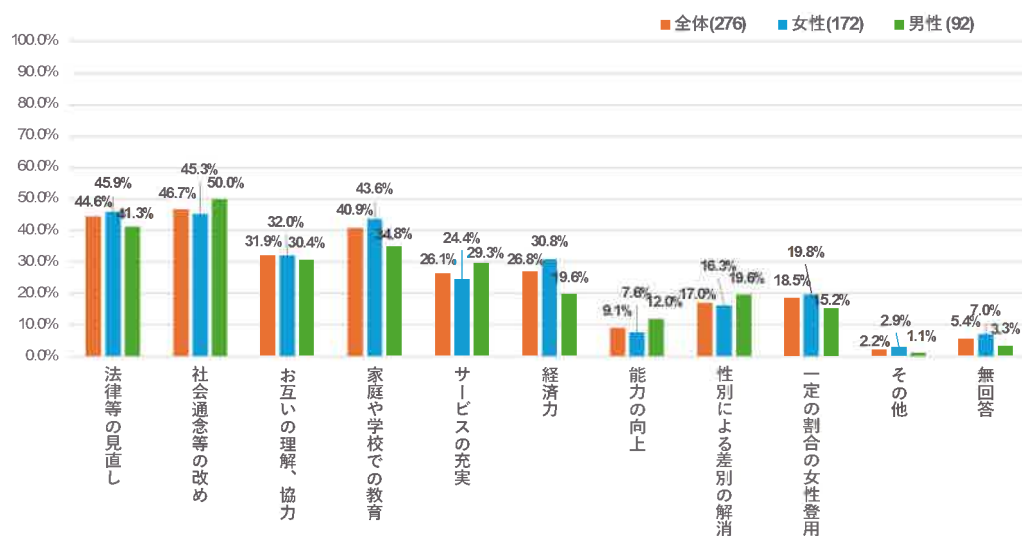


性・年齢別にみると、女性は【国会、県議会、市町村議会等の議員】が30歳代で100%、50歳代で92.5%、60歳代で81.6%、70歳以上で82.9%で最も高くなっており、すべての年代で80%を超えています。10~20歳代と40歳代では【企業の管理職、労働組合の幹部】（10~20歳代100%、40歳代89.5%）が最も高くなっています。

男性はすべての年代で【国会、県議会、市町村議会等の議員】が最も高くなっており、70%を超えています。【企業の管理職、労働組合の幹部】は40歳代が最も高くなっています。

【図4-1】男女共同参画社会実現のために必要なこと

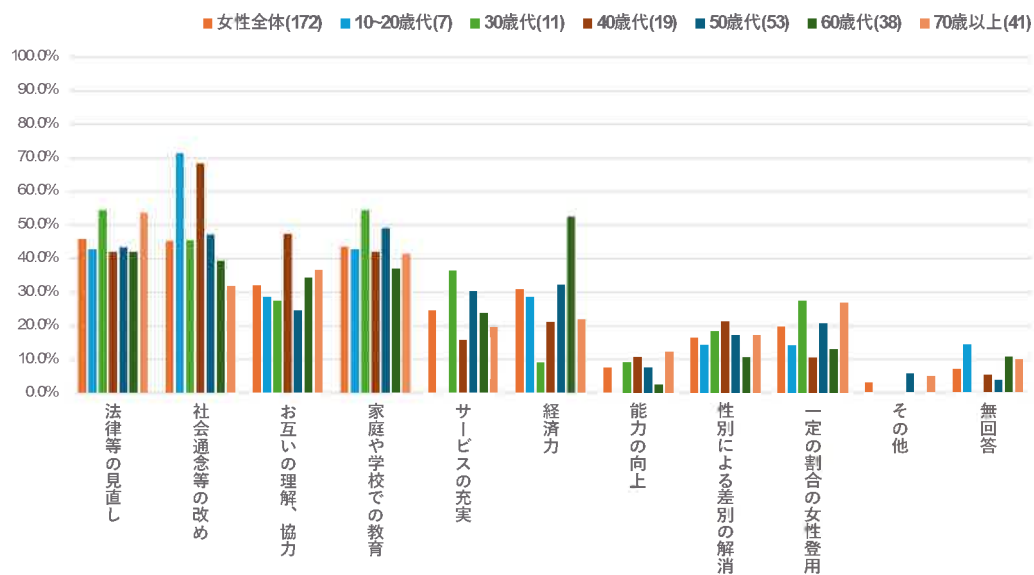
(1)男女別



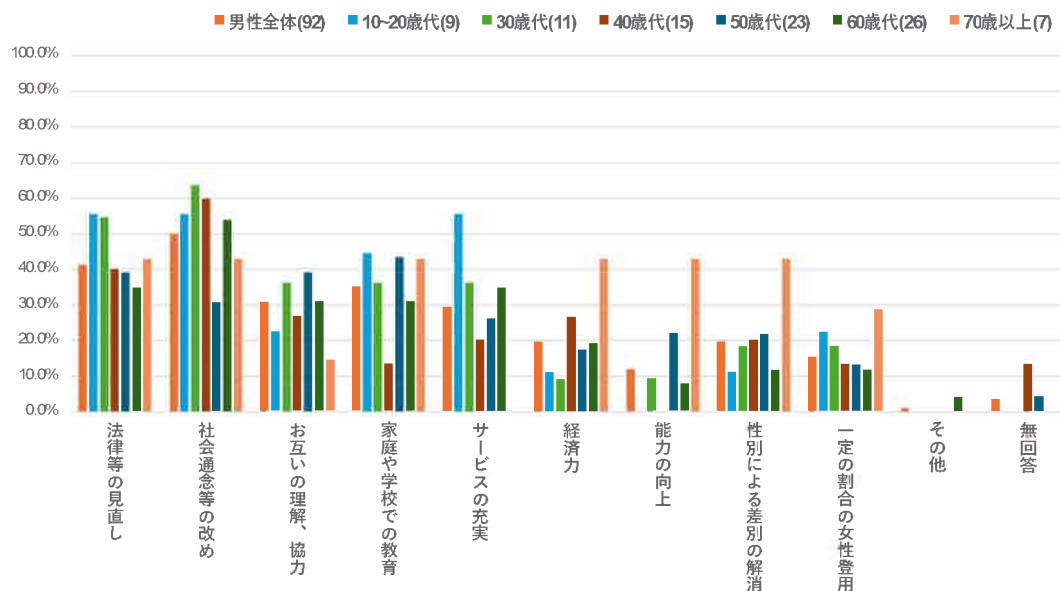
男女別にみると、女性は【法律等の見直し】が45.9%、男性は【社会通念等の改め】が50.0%で最も高くなっています。上位3項目は、男女ともに【法律等の見直し】【社会通念等の改め】【家庭や学校での教育】になっています。

男女差が最も大きかった項目は【経済力】で、11.2ポイント差（女性30.8%、男性19.6%）になっています。

(2) 女性・年齢別



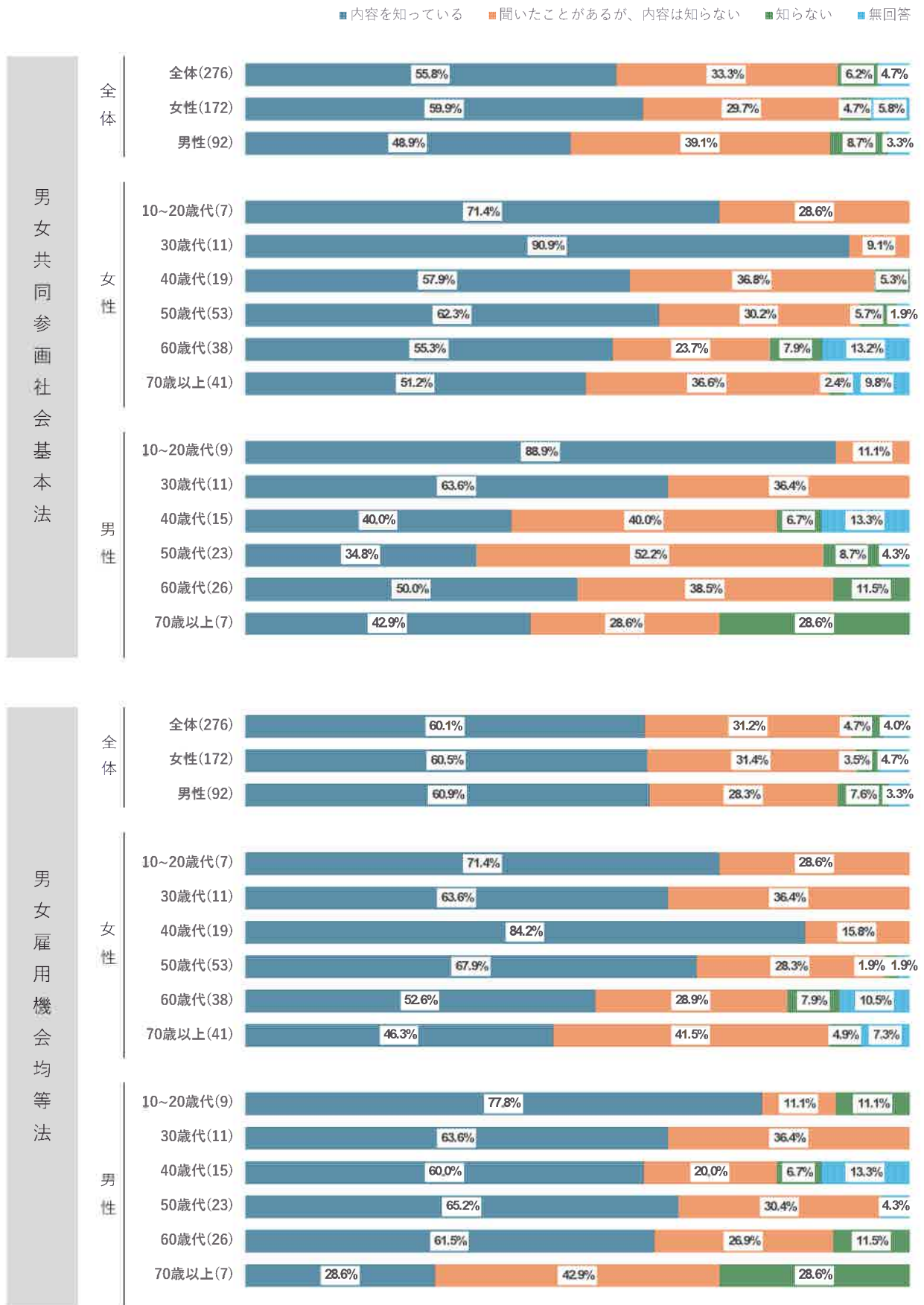
(3) 男性・年齢別



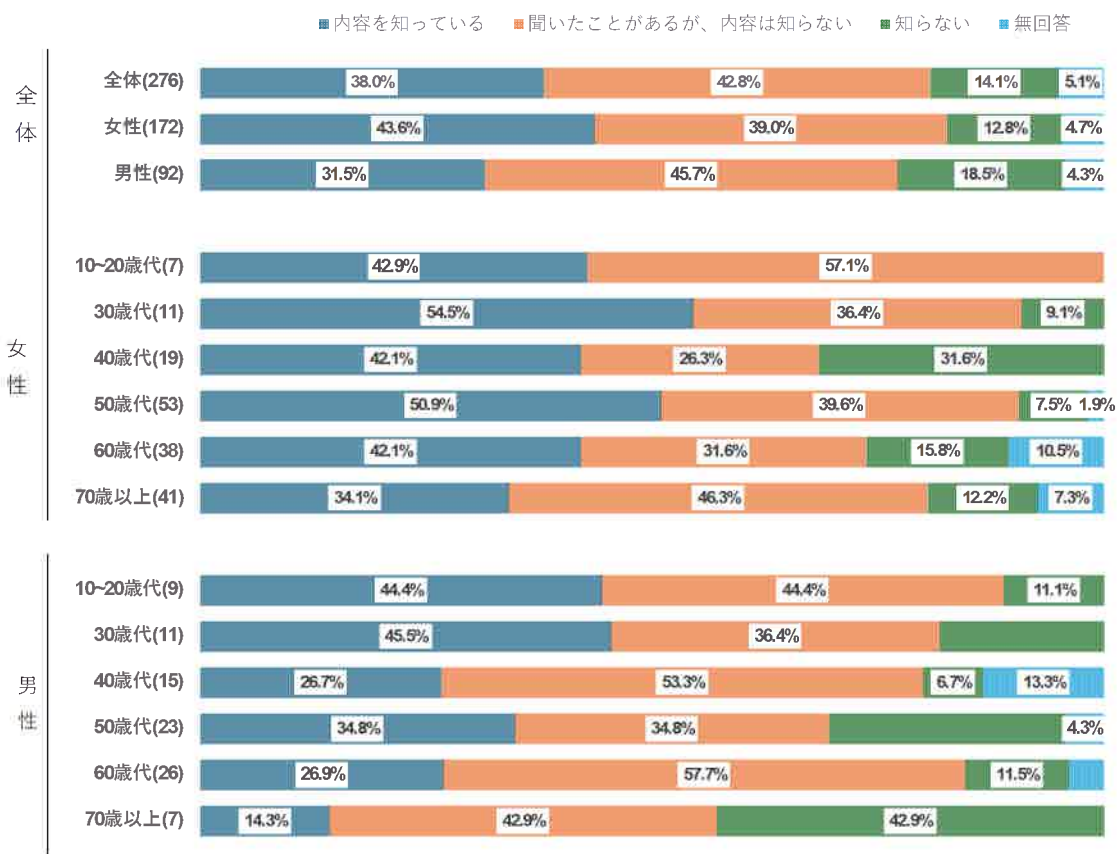
性・年齢別にみると、女性は10～20歳代・40歳代で【社会通念等の改め】（71.4%）、30歳代で【法律等の見直し】【家庭や学校での教育】（どちらも54.5%）、50歳代で【家庭や学校での教育】（49.1%）、60歳代で【経済力】（52.6%）、70歳以上で【法律等の見直し】（53.7%）が最も高くなっています。

男性は10～20歳代、30歳代、40歳代、60歳代、70歳以上で【社会通念等の改め】、50歳代では【家庭や学校での教育】が43.5%で最も高くなっています。

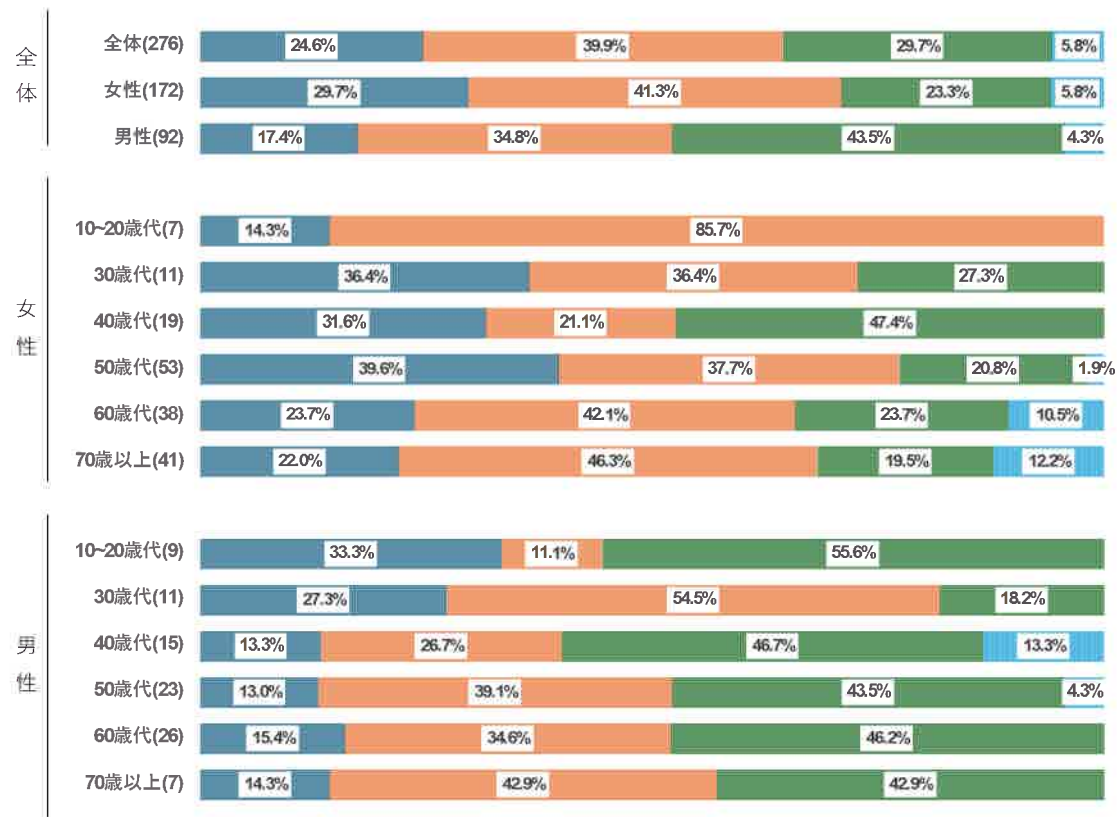
【図5-1】男女共同参画に関する言葉の認知度



女性活躍推進法

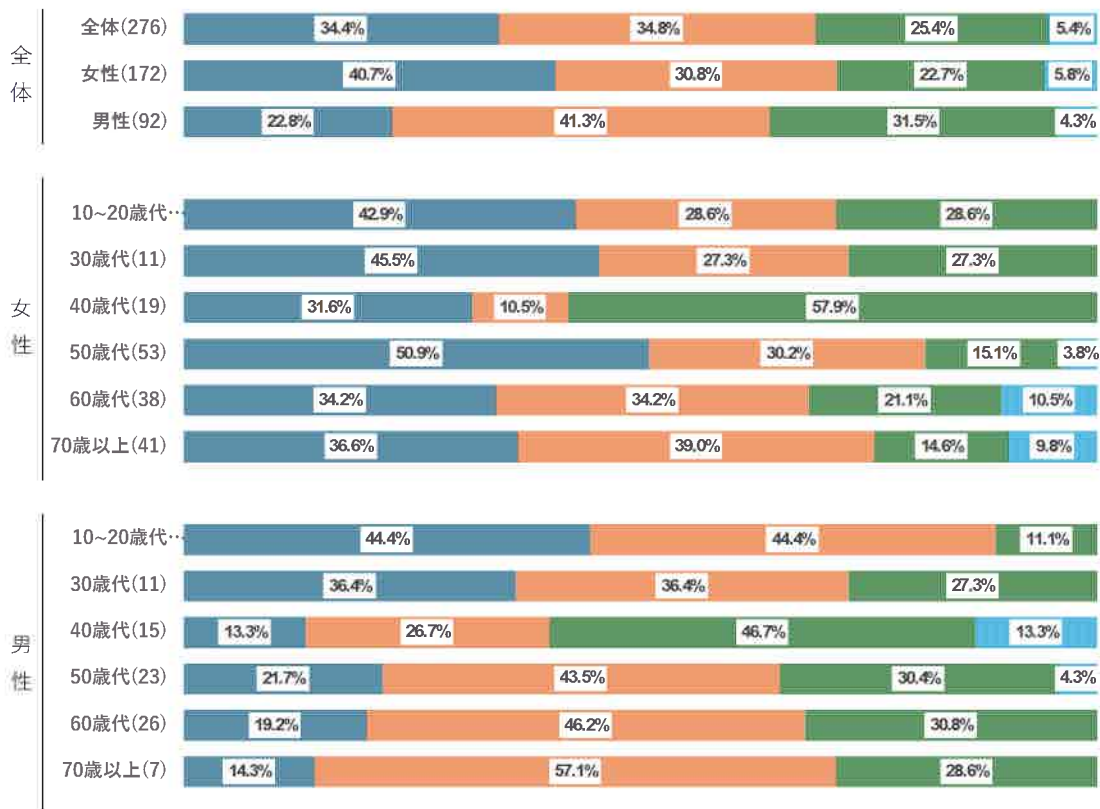


政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

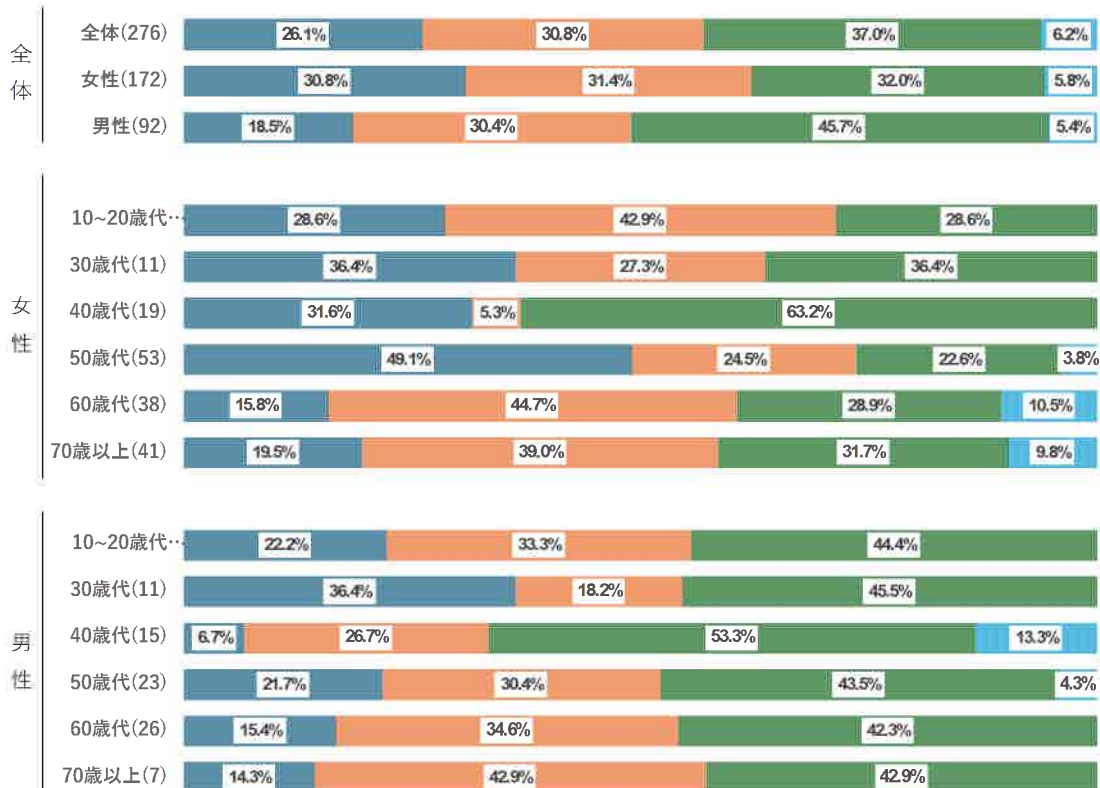


埼玉県男女共同参画基本計画

■ 内容を知っている ■ 聞いたことがあるが、内容は知らない ■ 知らない ■ 無回答

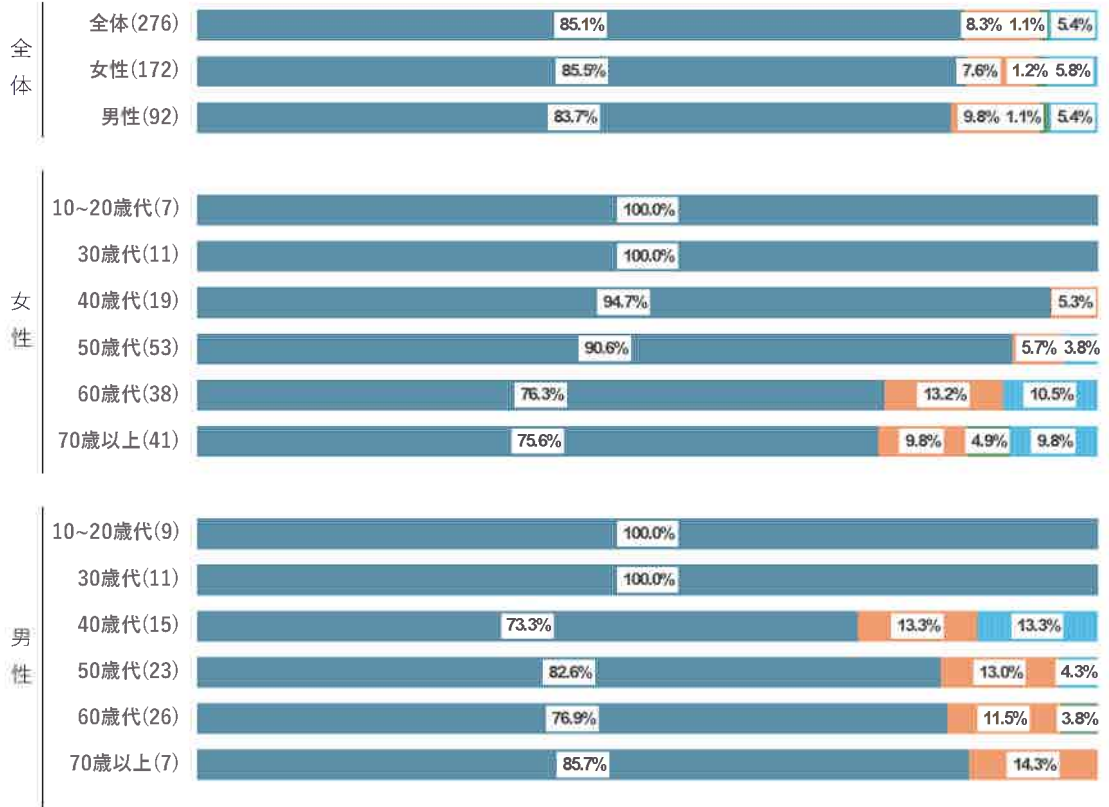


埼玉県の多様性を尊重した社会づくり条例

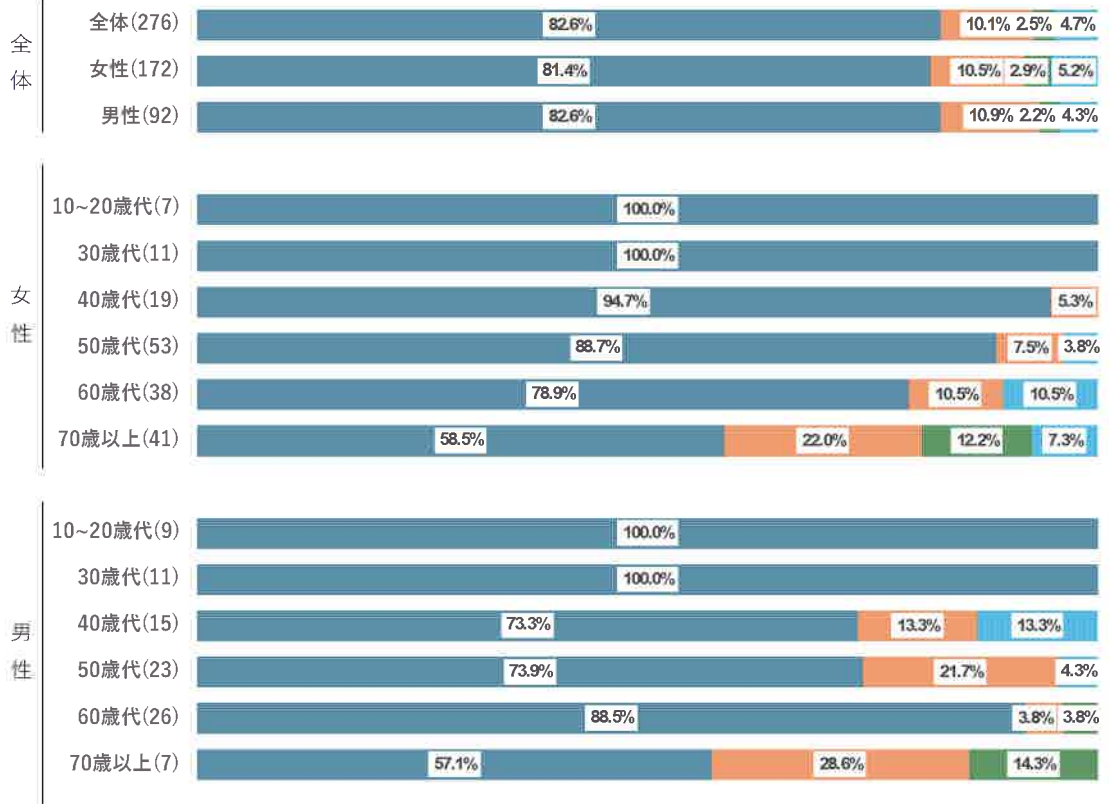


■ 内容を知っている ■ 聞いたことがあるが、内容は知らない ■ 知らない ■ 無回答

ジェンダー I

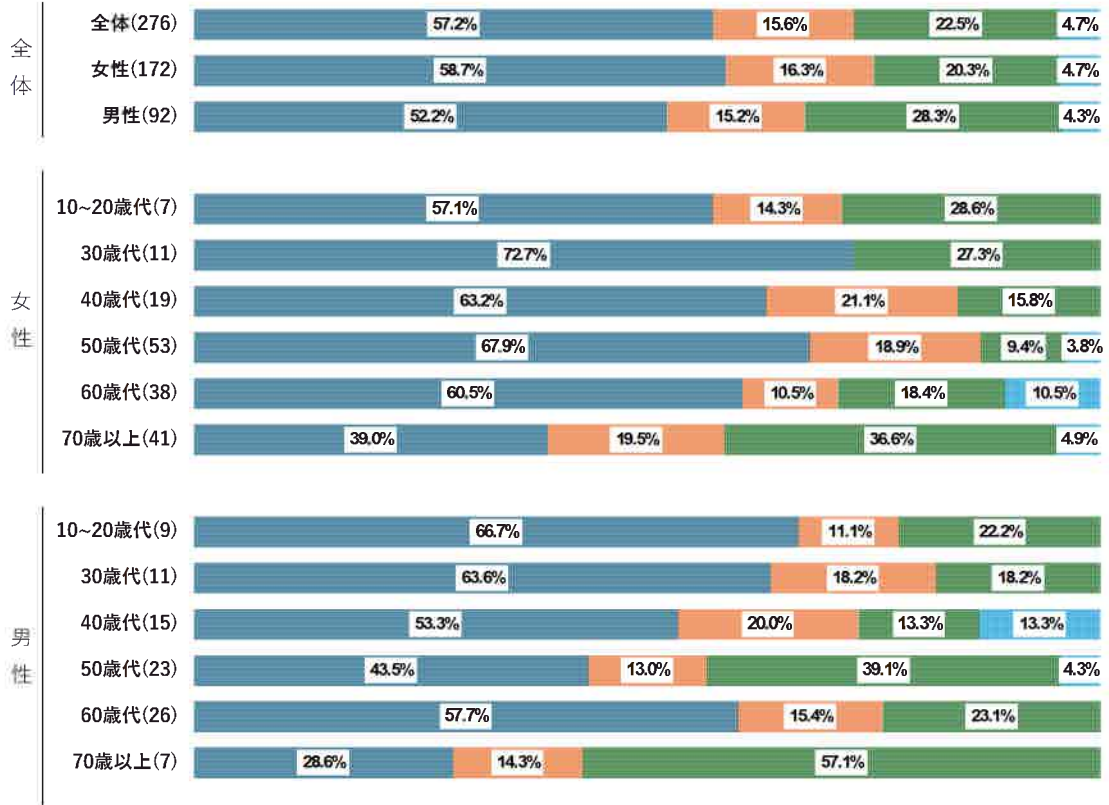


LGBTQ

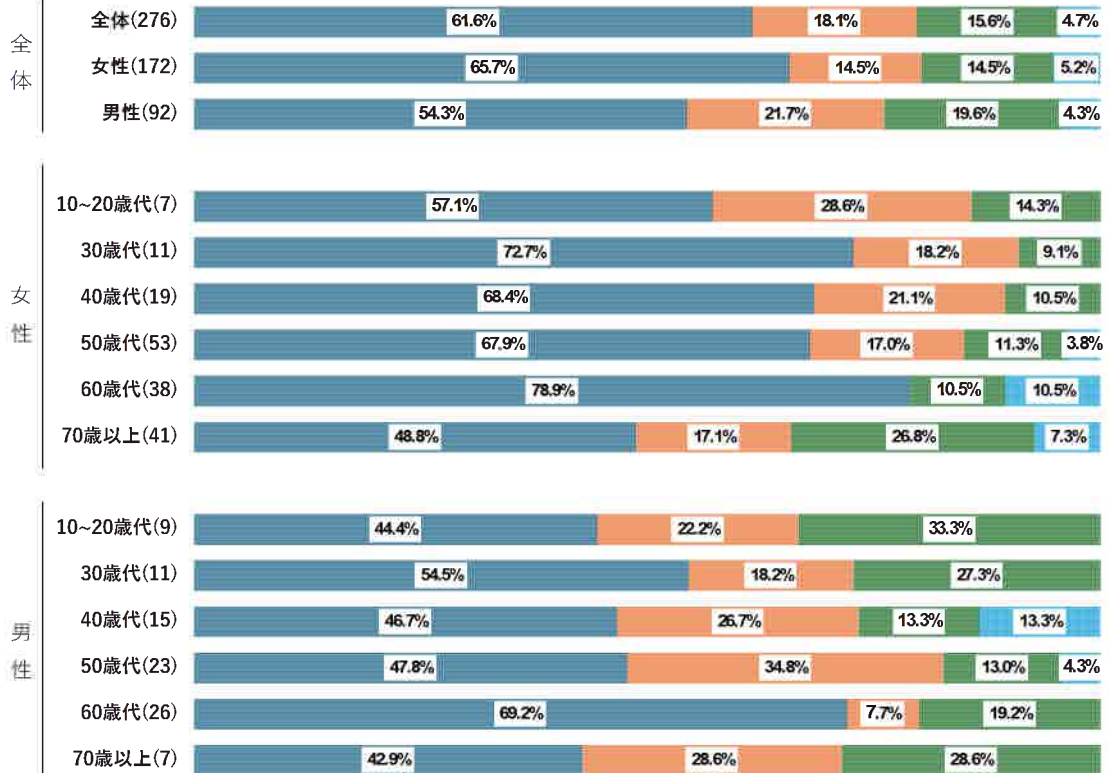


■ 内容を知っている ■ 聞いたことがあるが、内容は知らない ■ 知らない ■ 無回答

アンコンシヤス・バイアス

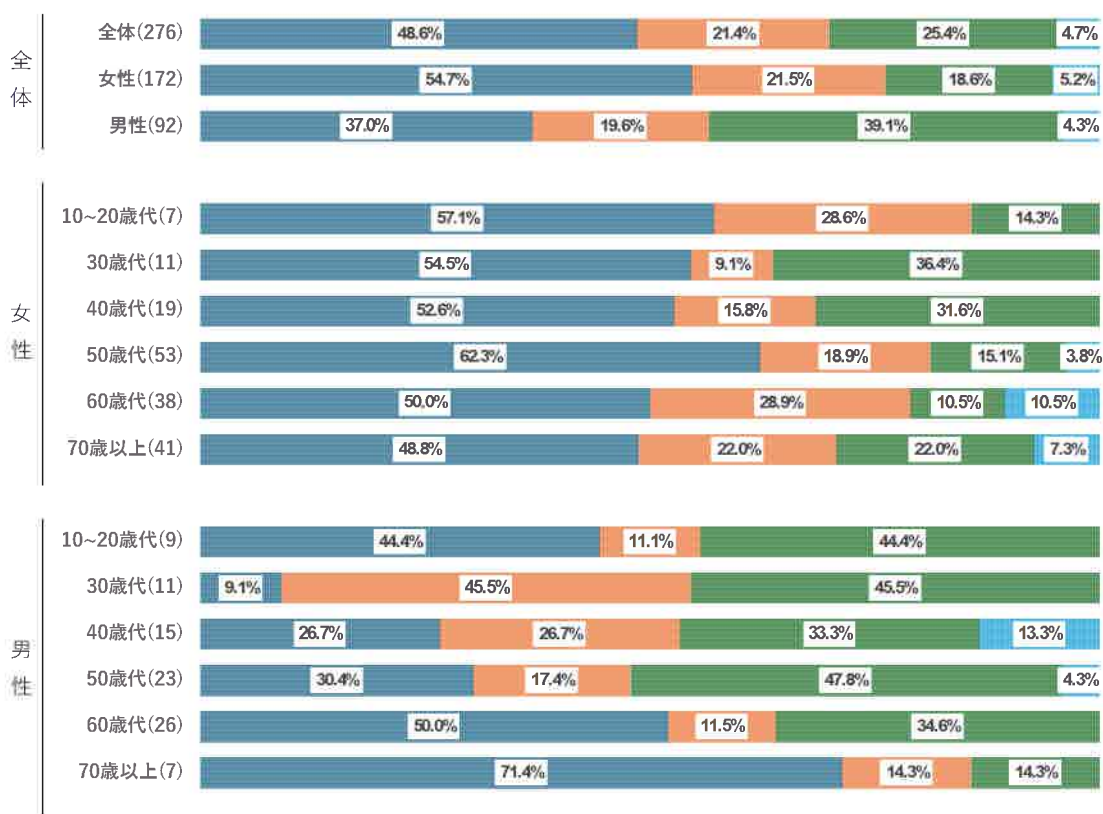


ガラスの天井

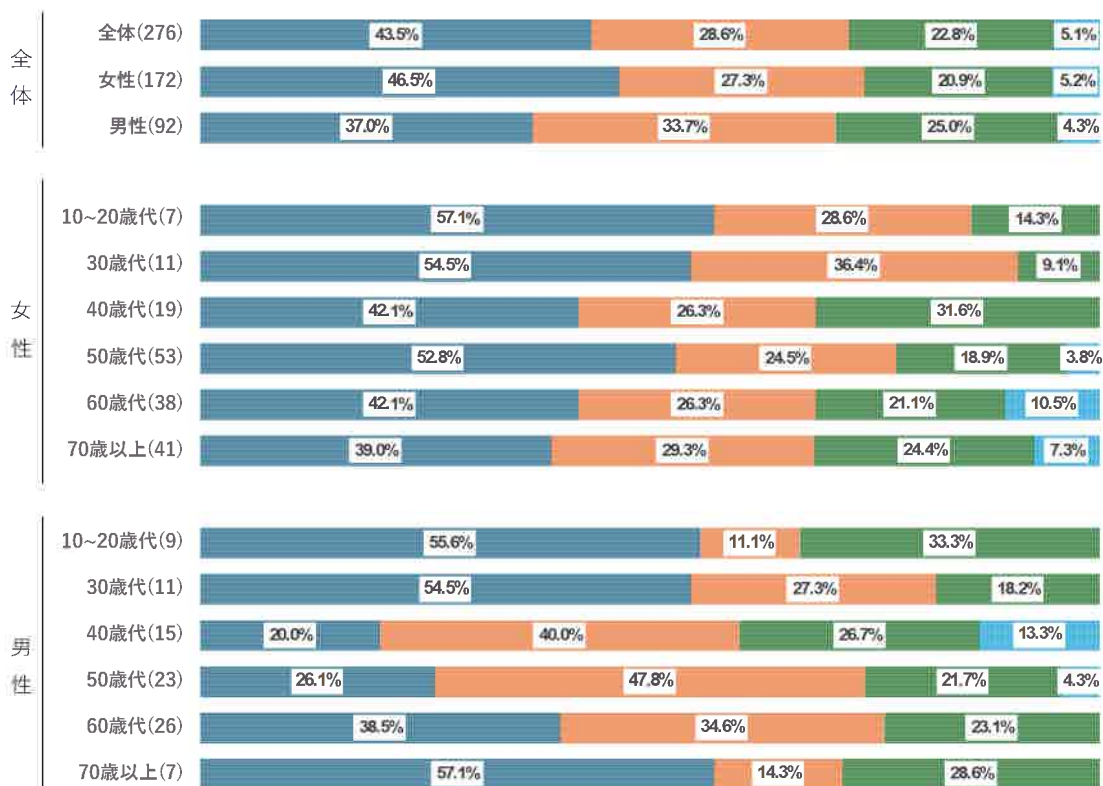


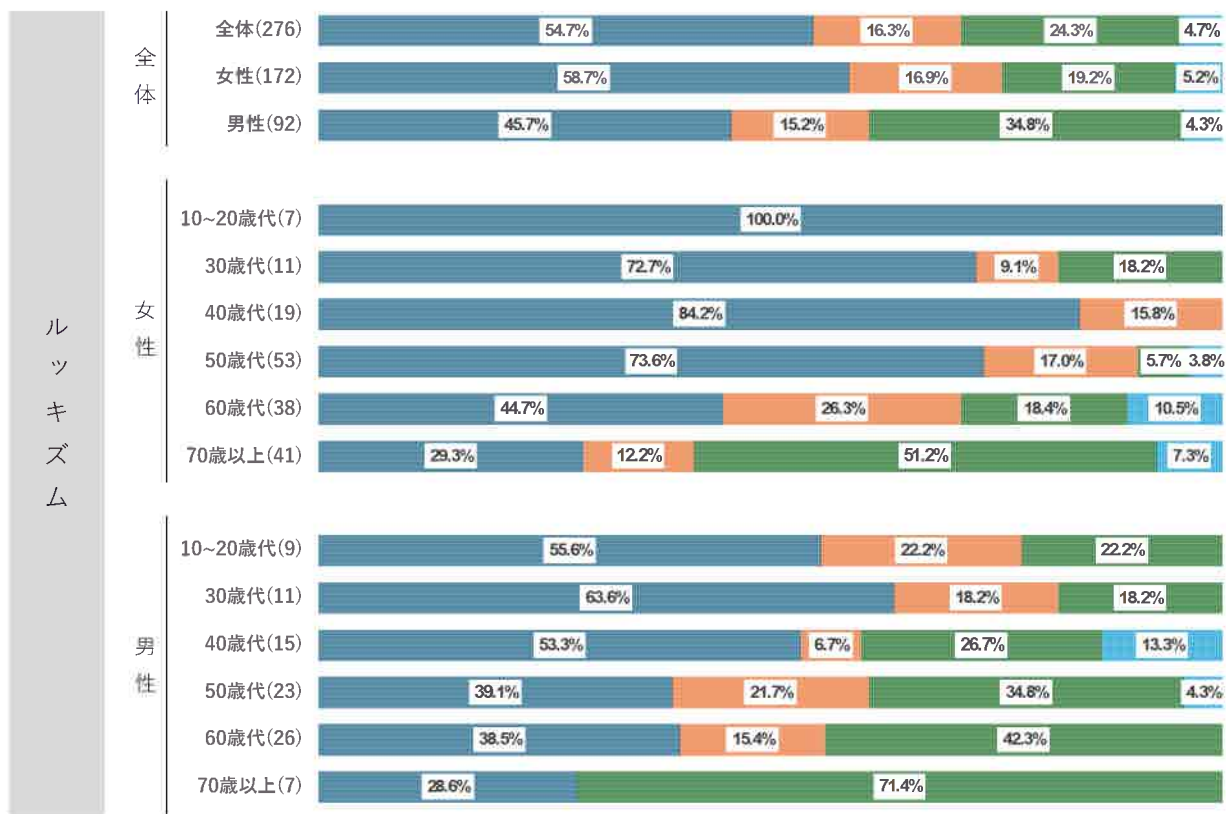
■ 内容を知っている ■ 聞いたことがあるが、内容は知らない ■ 知らない ■ 無回答

クオータ制



ジェンダー主流化





男女別でみると、「内容を知っている」は【男女雇用機会均等法】と【LGBTQ】以外で女性の方が高くなっています。

男女差が大きかった3項目は、【埼玉県男女共同参画基本計画】で17.9ポイント差（「内容を知っている」女性40.7%、男性22.8%）、【クオータ制】で17.7ポイント差（「内容を知っている」女性54.7%、男性37.0%）、【ルッキズム】で13.0ポイント差（「内容を知っている」女性58.7%、男性45.7%）になっています。

【男女共同参画社会基本法】

男女ともに10～20歳代、30歳代の認知度が高くなっています。（「内容を知っている」女性/10～20歳代71.4%、30歳代90.9%、男性/10～20歳代88.9%、30歳代63.6%）特に男性では10～20歳代と70歳以上では46.0ポイントの差があります。（「内容を知っている」男性/70歳以上42.9%）

【男女雇用機会均等法】

男女差が最も小さく（「内容を知っている」0.6ポイント差）、男女ともに6割以上の認知度になっています。

【女性活躍推進法】

女性で4割、男性で3割程度の認知度になっています。

【政治分野における男女共同参画の推進に関する法律】

すべての用語の中で最も認知度が低くなっています。（「内容を知っている」女性29.7%、男性17.4%）

【埼玉県男女共同参画基本計画】

男女ともに「知らない」が40歳代で最も高くなっています。（「知らない」女性/40歳代57.9%、男性/40歳代46.7%）

【埼玉県の多様性を尊重した社会づくり条例】

「内容を知っている」は26.1%（女性30.8%、男性18.5%）で、【政治分野における男女共同参画の推進に関する法律】に次いで低い認知度になっています。男女ともに「知らない」が40歳代で最も高くなっています。（「知らない」女性/40歳代63.2%、男性/40歳代53.3%）

【ジェンダー】

すべての用語の中で最も高い認知度（「内容を知っている」85.1%、女性85.5%、男性83.7%）になっています。特に男女ともに10～20歳代、30歳代では100%です。

【LGBTQ】

【ジェンダー】に次いで高い認知度（「内容を知っている」82.6%、女性81.4%、男性82.6%）になっています。

【ジェンダー】と同じく、10～20歳代、30歳代の認知度は100%です。

年代間では、女性で41.5ポイント差（「内容を知っている」女性/70歳以上58.5%）、男性で42.9ポイント差（「内容を知っている」男性/70歳以上57.1%）になっています。

【アンコンシャス・バイアス】

男女ともに5割程度の認知度になってます。（「内容を知っている」女性58.7%、男性52.2%）

【ガラスの天井】

男女ともに60歳代で最も高い認知度（「内容を知っている」女性78.9%、男性69.2%）になっています。

【クオータ制】

30歳代の男性で最も低い認知度（「内容を知っている」男性/30歳代9.1%）になっています。男性の年代間では62.3ポイントの差（「内容を知っている」男性/70歳以上71.4%）があります。

【ジェンダー主流化】

男女ともに5割未満の認知度（「内容を知っている」女性46.5%、男性37.0%）になっています。女性で70歳以上、男性で40歳代で最も低い認知度（女性70歳以上/39.0%、男性/40歳代20.0%）になっています。

【ルッキズム】

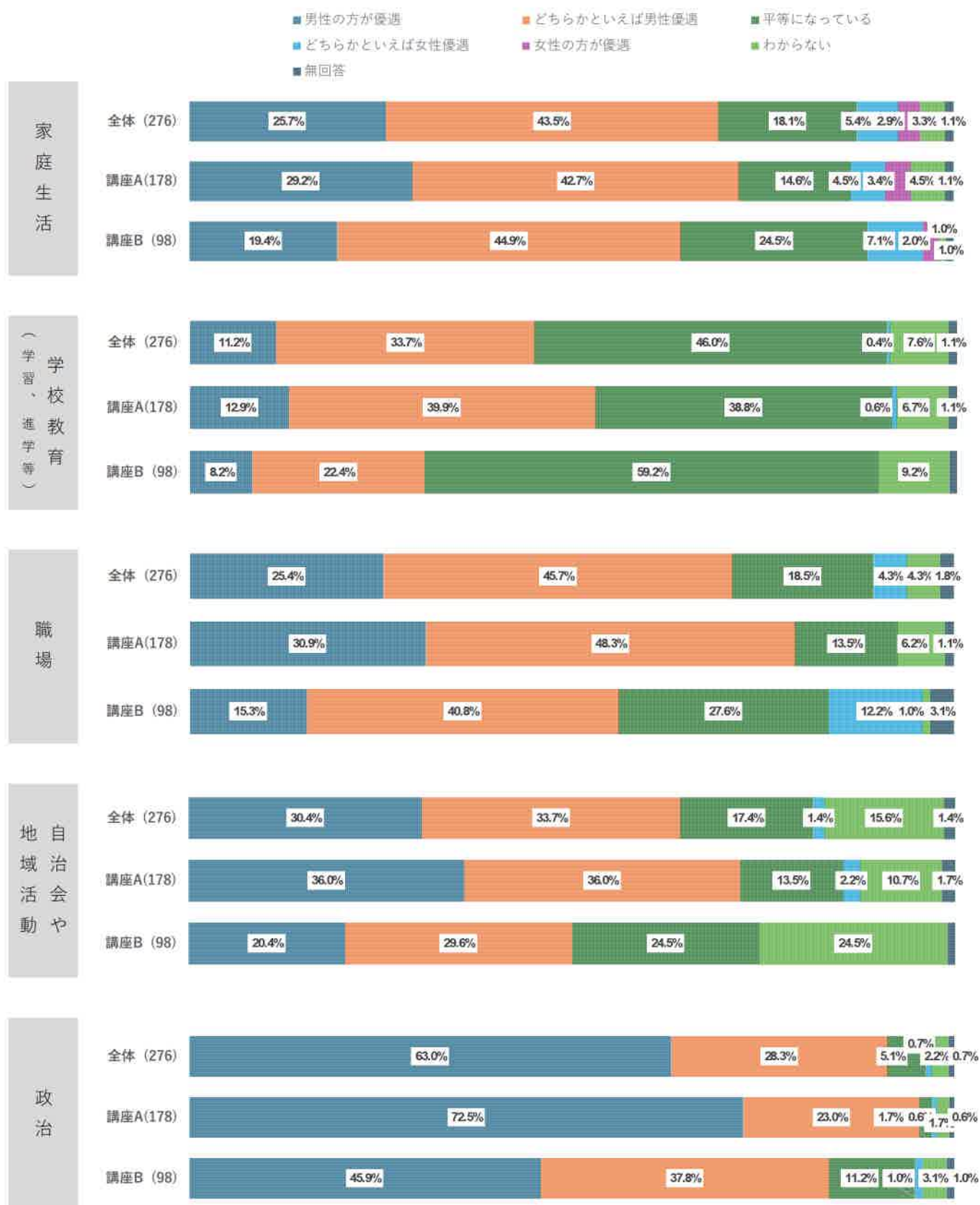
男女ともに年代間で認知度に差がみられます。特に女性では10～20歳代と70歳以上で70.7ポイントの差（「内容を知っている」10～20歳代100%、70歳以上29.3%）があります。男性も70歳以上で最も認知度が低くなっています。（男性/70歳以上28.6%）

3 調査分析

(2) 講座別分析

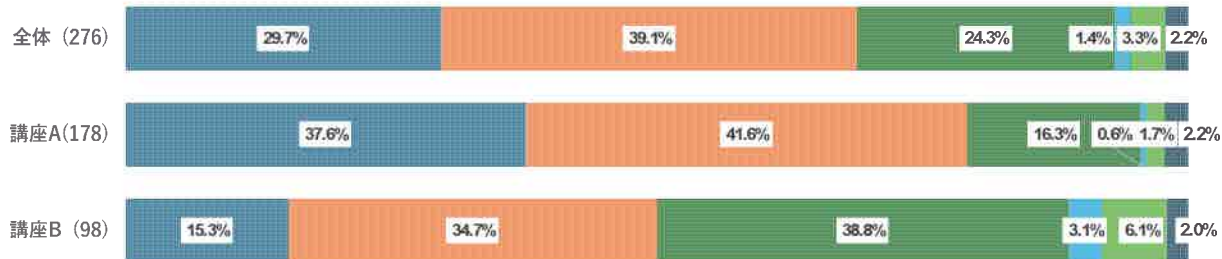
【図1-2】男女の地位の平等感（講座間比較）

・ 講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
・ 講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計

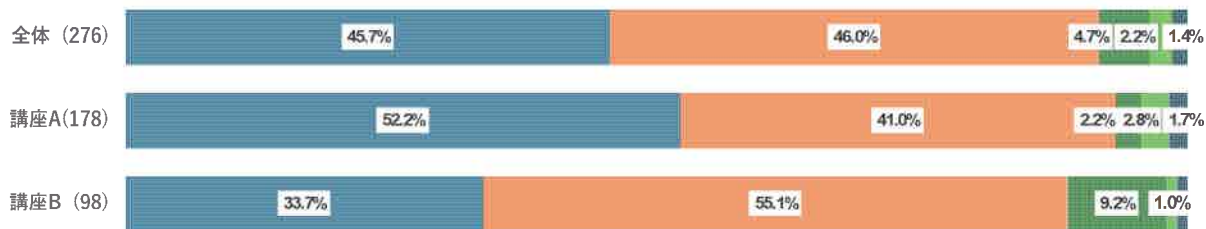


■ 男性の方が優遇 ■ どちらかといえば男性優遇 ■ 平等になっている
 ■ どちらかといえば女性優遇 ■ 女性の方が優遇 ■ わからない
 ■ 無回答

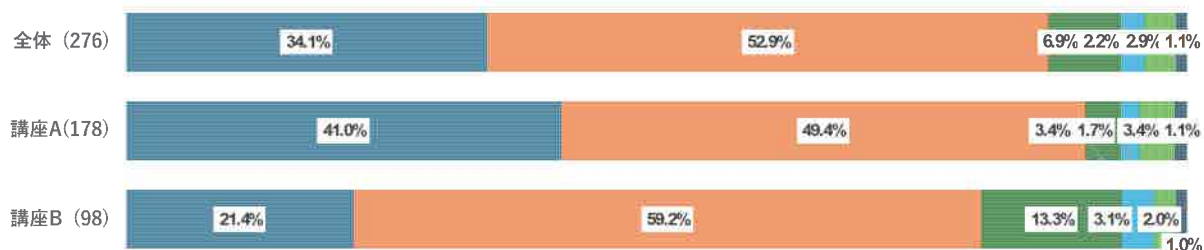
法律
や
制度



社会
や
風潮



社会
全体



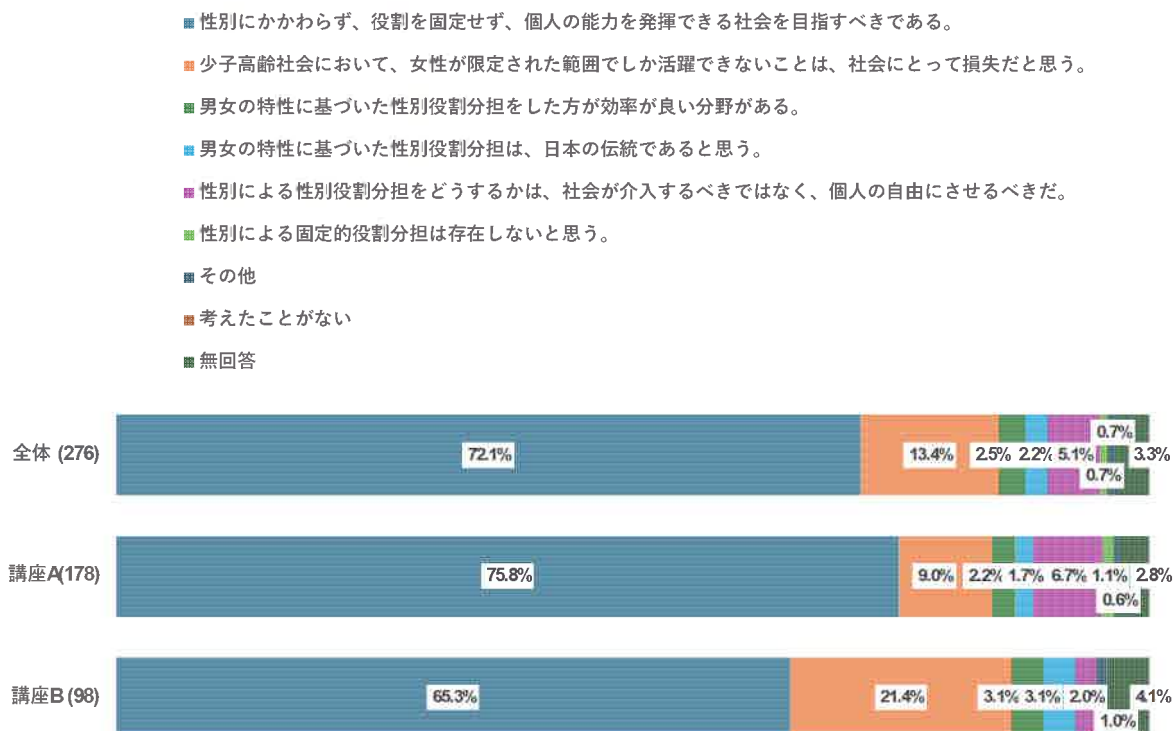
講座別にみると、すべての分野において講座A受講者（男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会）の方が講座B受講者（ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナー）よりも「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性優遇」の割合が高くなっています。

特に【政治】では、「男性の方が優遇」で26.6ポイントの差（講座A 72.5%、講座B 45.9%）があります。

他に講座間の差が大きかった項目は、【法律や制度】で29.2ポイント（「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」講座A 79.2%、講座B 50.0%）、【学校教育（学習、進学等）】で22.2ポイント（講座A 52.8%、講座B 30.6%）、【職場】で23.1ポイント（講座A 79.2%、講座B 56.1%）になってます。

【図2-2】性別役割分担意識（講座間比較）

- ・ 講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
- ・ 講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計

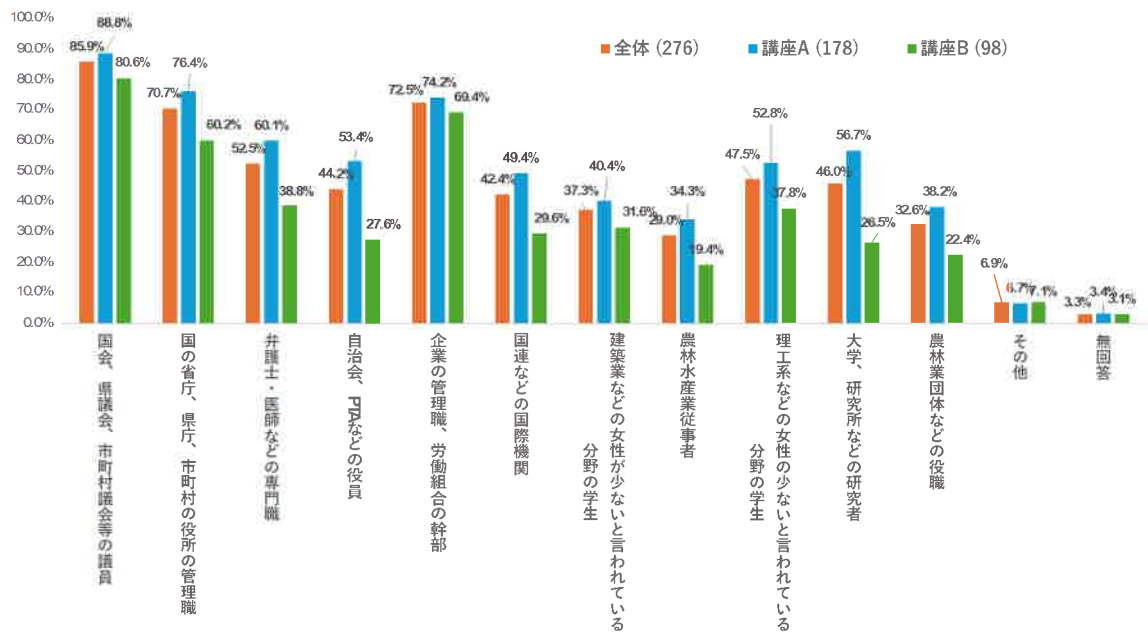


講座別にみると、講座A受講者（男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会）の方が【性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである】の割合が高くなっています。

講座B受講者は【少子高齢社会において、女性が限定された範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思う】が21.4%で、講座A受講者よりも高くなっており、その差は12.4ポイント（講座A 9.0%）になっています。

【図3-2】特に女性の参画が進むべき分野（講座間比較）

- ・講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
- ・講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計

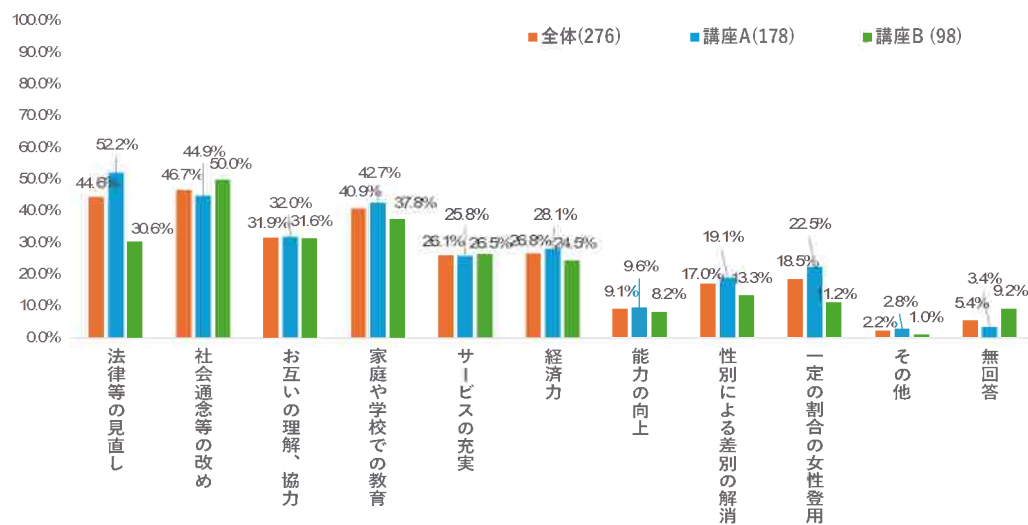


講座別にみると、すべての分野において、講座A受講者（男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会）の方が講座B受講者よりも割合が高くなっています。

差の大きかった3項目は、【大学、研究所などの研究者】で30.2ポイント（講座A 56.7%、講座B 26.5%）、【自治会、PTAなどの役員】で25.8ポイント（講座A 53.4%、講座B 27.6%）、【国連などの国際機関】で19.8ポイント（講座A 49.4%、講座B 29.6%）になっています。

【図4-2】男女共同参画社会実現のために必要なこと（講座間比較）

- ・講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
- ・講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計



講座A受講者（男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会）の上位3項目は【法律等の見直し】

（52.2%）、【社会通念等の改め】（44.9%）、【家庭や学校での教育】（42.7%）になっています。

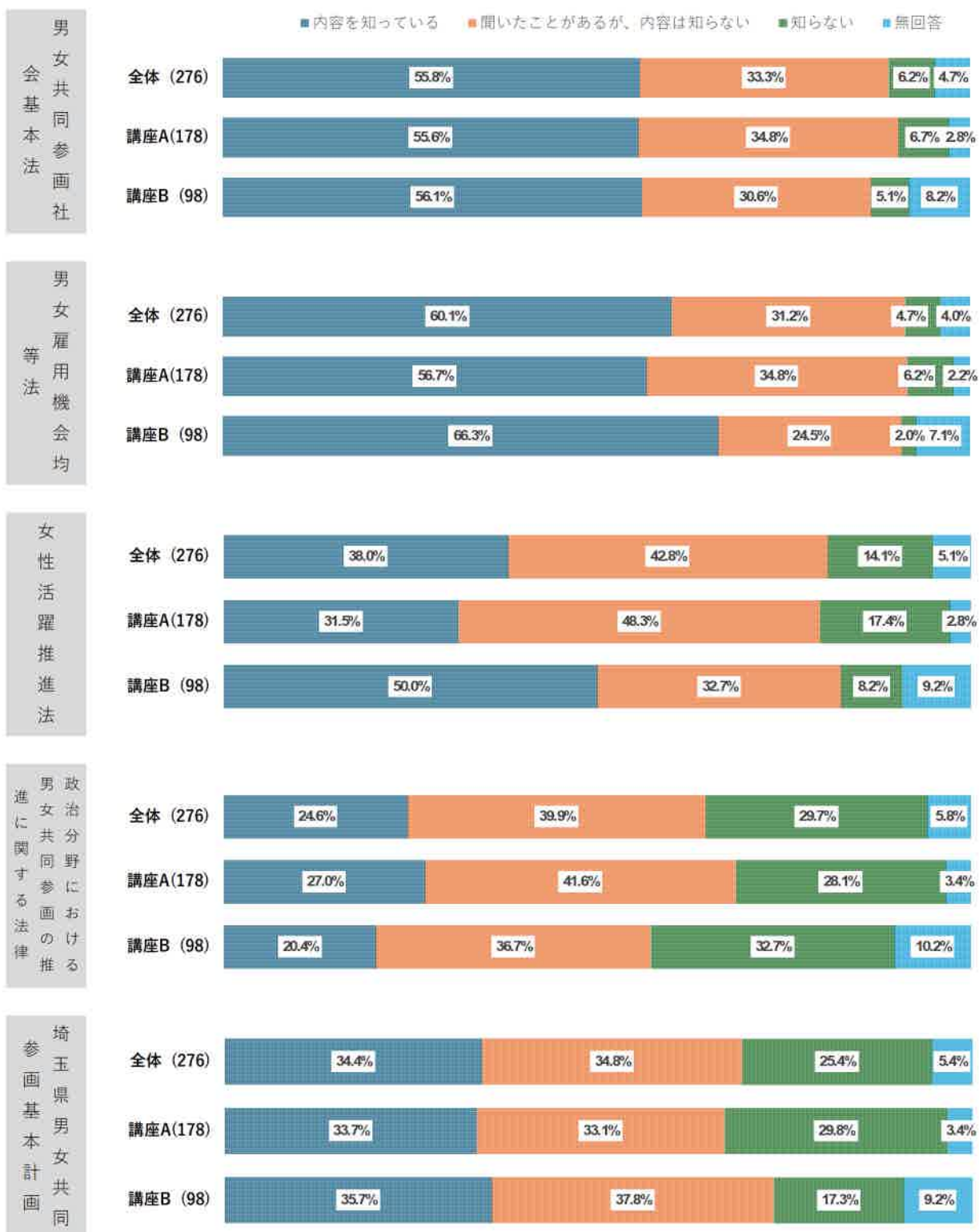
講座B受講者（ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナー）の上位3項目は【社会通念等の改め】

（50.0%）、【家庭や学校での教育】（37.8%）、【お互いの理解、協力】（31.6%）になっています。

講座間では【法律等の見直し】で最も差が大きく21.6ポイントになっています（講座A 52.2%、講座B 30.6%）。

【図5-2】男女共同参画に関する言葉の認知度（講座間比較）

- ・ 講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
- ・ 講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計



を 埼
づ 玉
く 県
重 市
り し
た の
条 多
例 様
社 性
会 性

ジ
エ
ン
ダ
ー

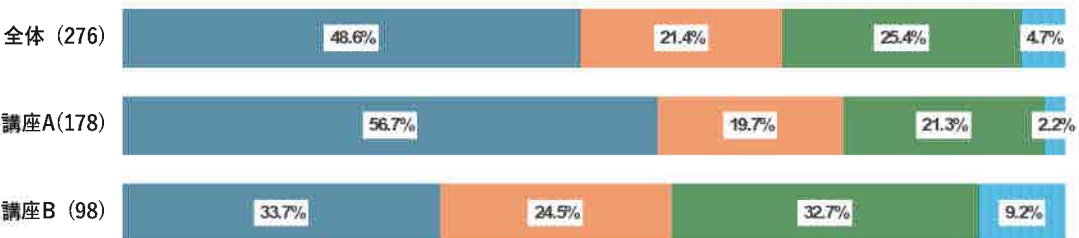
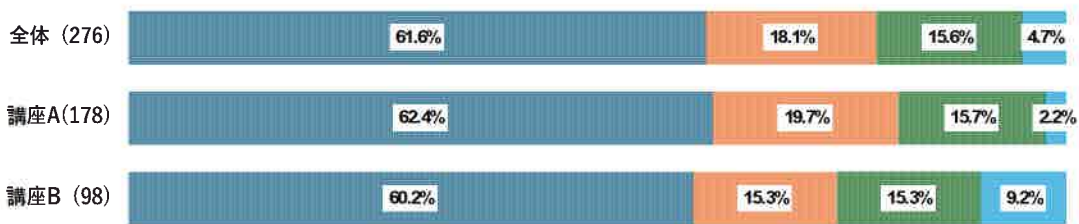
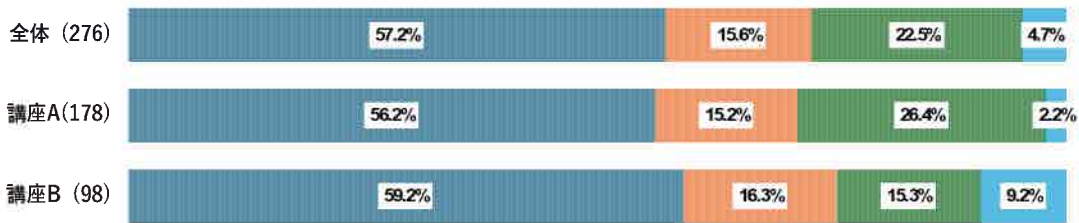
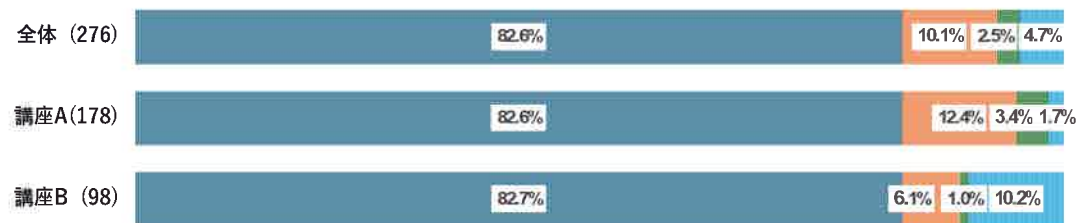
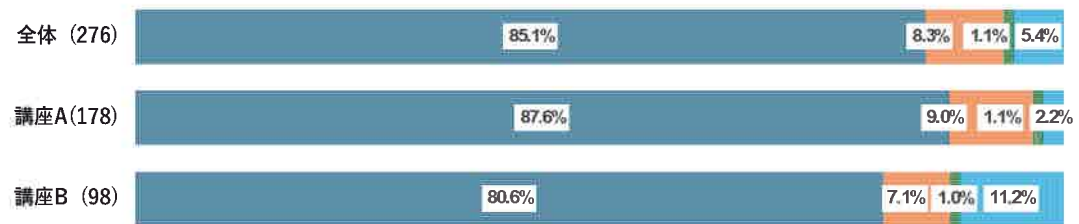
L
G
B
T
Q

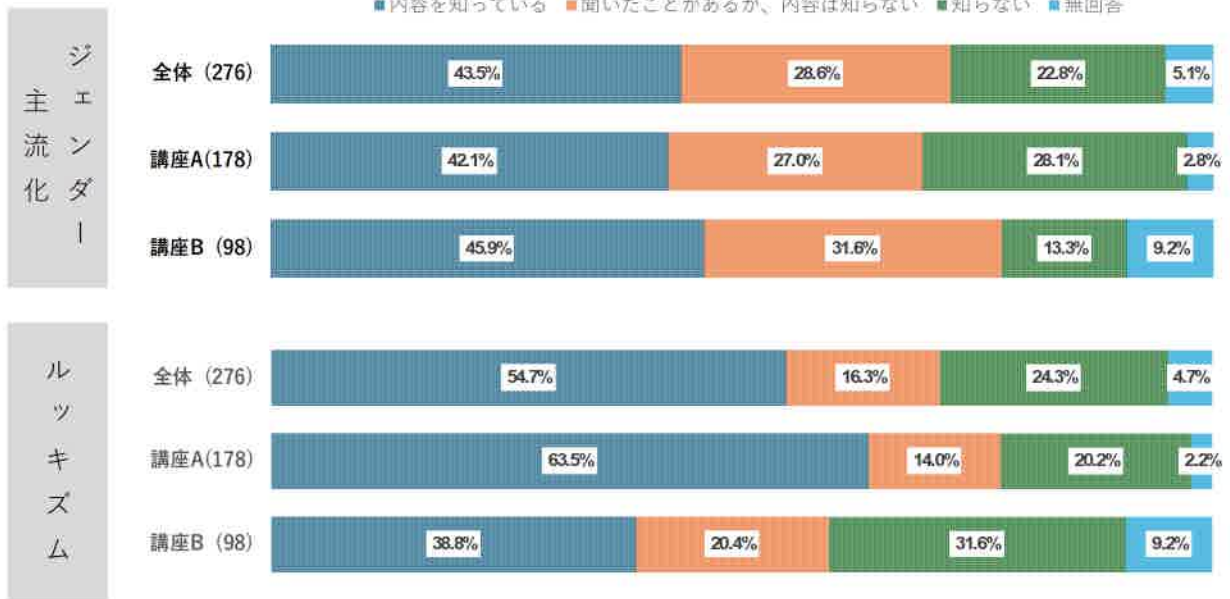
ス
ア
ン
バ
イ
ン
ア
シ
ス
ヤ

ガ
ラ
ス
の
天
井

ク
オ
ー
タ
制

■ 内容を知っている ■ 聞いたことがあるが、内容は知らない ■ 知らない ■ 無回答





講座別で認知度に差がみられた上位3項目は、【ルッキズム】で24.7ポイント（「内容を知っている」講座A 63.5%、講座B 38.8%）、【クオータ制】で23.0ポイント（講座A 56.7% 講座B 33.7%）、【女性活躍推進法】（講座A 31.5%、講座B 50.0%）で18.5ポイントになっています。

4 男女共同参画を推進するための御意見、埼玉県に期待すること(自由記述)

■ ジェンダー主流化トップセミナー

先日、管理職候補の女性たちとの意見交換会を行い、アンコンシャス・バイアスやガラスの天井について話をさせていただきましたが、30～40歳代の職員、ほとんど概念、言葉を知らなかったのが現状です。機会をとらえて概念を発信していきたいと思っています。 (50代・女性)
まず法律から改正する。女性の甘えをなくす。受け皿の教育。 (60代・女性)
女性農業者(特に小規模農業)への支援(住居、助成金)拡大を求めます。 (60代・男性)
このジェンダー主流化を埼玉県内、そして全国へ発信して欲しい。 (50代・女性)
ジェンダー主流化事業点検を本当に全庁で展開していただきたいです。これを男性職員に経験してもらえれば。 (60代・女性)
埼玉県内の地域－自治体間で格差が大きい。県は各自治体の人事等に対して定期的にチェックする機能を持ってほしい。 「男女共同参画」という言葉に対する抵抗がまだまだある。学校教育の現場でもっと取り上げる必要を感じる。教職員研修(意識啓発)も課題。 (60代・女性)
まずは一人一人が理解しないと推進できない。 今後、理解するための勉強の機会が必要と思った。 (60代・女性)
ジェンダーギャップやバイアスという定義がバイアスになっていることもある気がします。学習や研究では解決できない壁があると思いました。結局答えは現場にあると今日の講演を聞いていて感じました。 (50代・女性)

■ ジェンダー主流化実務者セミナー

男性と女性を区別せずに平等な社会を希望いたします。LGBTQ等の差別が理解されずに様々な問題が多いです。個人での活動を通して見えている環境をとらえる努力をしています。 (40代・男性)
市長会で動画を放映してください。そして、担当課に話を聞くように言ってください。うちのトップは男女共同参画審議会で「男と女は仲良くすればいいんだ」とあいさつするような方なので、担当課の話を聞いてくれません。 (50代・女性)

■ 男性によるトークセッション

今の会社では代表(トップ)が男だから、仕事も賃金も男女で差がある。求人も表向きは男女が記載できないが残念な会社が存在している。法律だけでは何百年経っても変わらないと思う。私自身は何ができるのかや何をしたいのかを、子どもには伝えていきたいと思う。 (40代・女性)
行政では女性を多く見るようになりましたが、ビジネスや政治などでも、女性の会やグループで対等に会話できる環境にならないものかと感じます。「女性らしい意見」を求められたり、真剣に冷静に話せる機会やチャンス을設けてほしい。女性ばかりのコミュニティをつくりたいわけではありません。 (40代・女性)
行政役所・教育の分野からでよいので、女性管理職を増やしてほしい。出産・育児が不利にならないように肩身が狭い思いをしなくてもいいように、人員確保をしてほしい。 (30代・女性)

知事をはじめ、メディアに出て発信する側の人々が積極的に発信すること 女性首相、女性知事、行政の男女比を同じにしていこうと思う。 (40代・男性)
女性の中の男尊女卑も未だに根深い。皆が学びなおしや何度もそぎ落とす必要があると感じた。 (50代・女性)
近頃、男女共同参画は逆風にあっているのでは？ 思った以上に保守的な考えの人が多いのではと感じることがあります。最近浸透してきたのかもしれないが、特に若い子や子ども達に男女平等の考えを浸透させてほしい。 (60代・女性)
これからの日本のシステムが男女共に生きやすいものに近づいていくことを願います。 (60代・女性)
人口減少でみんなが働かなければ日本は成立しない時代にあります。子育てをしながら、女性も正職員で働き続けられるような政策を取ってほしい。9時から17時で残業なしで働くのも一つと思います。 (70代・女性)
女性専用車両がどうしても必要なかを性別に関わらずわかりやすく伝えて欲しい。 (30代・女性)
50代男性管理職のアンコンシャス・バイアスを変える取組 (30代・女性)
男女共同参画について発信していますが、中高年の男性など理解しようとしにくい人の心に響かせるにはどうしたらいいのか、もしくは無理なのかと落ち込むことがあります。やはり、子どもの頃からの教育(家庭も必要だが、家庭内の考え方までは難しい)やメディアの伝え方などが重要と感じます。とはいえ、先生の社会も男女不平等だと思うので、一筋縄にはいかないです。 (50代・女性)
20～30歳代の男性の男女平等や家事分担や子育ての考え方は、60歳以上の男性とは無意識レベルで相当変わってきていると思うので、継続した教育や宣伝を自然体で行っていただけるように希望します。 (50代・回答しない)
マジョリティ側が特権があることを自覚することが重要と思う。男性の参加者が増えるような企画を望みます。 (50代・女性)
「女性の方が得をしている」など、男性の理解が圧倒的に貧弱。 (50代・女性)
今回のような「男性性」を問うイベントはとても大切だと思います。 (50代・男性)
各種の講演会に特に働き盛りの世代の男性に参加してほしい。 (70代・男性)
DVもいじめも、被害者が逃げるばかりの遠ざけるのではなく、加害者の意識、問題を改善する取り組みを積極的に行って欲しい。 (50代・女性)
これからの人への教育や学校教育を取り入れてほしい。 (50代・女性)
学校教育で独自プログラムを行ってほしい。 (50代・男性)
教育現場(学校側と子ども達)でもっとアピールできる企画をしてほしい。(70代・女性)
公立高校の共学化、制服や校則の自由化、クォータ制の推進 (50代・男性)
県立高校の共学化が議論されていますが、私立では選ぶことができるのに、多様性に逆行すると思います。「異性の目を気にせずのびのびと学校生活を送りたい」という気持ちも尊重すべきではないでしょうか。 (50代・女性)
埼玉県の進学校は男女別学が何校かあります。その特殊な環境を活かして、男女共同参画の考えや成果をコンクールのような形で発表するのはどうでしょうか。同性同士なので話しやすいのでは……。 (60代・女性)
私自身が偏見と差別の塊ですが、口に出したり顔に出したりしません。悩む必要はない。 (60代・女性)
県内の市町村への男女共同参画に関する活動の予算を割当て (50代・男性)
多少ずれますが、さいたま市の災害時対応組織構成員に女性が一人いて驚いた。 (60代・女性)
予算をもっとつけて欲しい。

■ フェスティバル講演会

固定的役割分担意識は緩和しつつあるが、今でも根強く残っている。教育の場だけでなく、家庭の中でも、男女は平等で、役割を決めないことを進めてほしい。 (50代・女性)
法整備も必要で大事であるが、一人ひとりの意識の変革が必要である。人間として平等、尊重される生き方を学ぶ、家庭教育も大切である。 (年齢不詳・女性)
夫婦別姓の推進 103万の壁の存在がある限り推進とはほど遠い。 扶養家族という概念を取り払うこと。 嫁をもらう、行くという言葉はなくす。死語にしていこう。 (70代・女性)
リスキリングを進める。 住宅の公的補助を進めることで自分に合った働き方ができると思う。 (70代・女性)
おたがい歩み寄れる世の中になるよう希みます。 (50代・女性)
割合をあてはめることなく、要望に応じての登用を進めてほしい。 (50代・女性)
さほどくわしくもなく、参加しています。少しずつでも前向きにと思います。(70代・女性)
県立の男女別学校が永く存続してきた経緯などから、ジェンダー平等下位県であることを自覚し、奮起して、改善政策に努めてほしい。 ジェンダー主流化はすべての政策が対象なので、モデル事業を選定する発想は意外だった。 (60代・男性)
フェスティバルは男女共同参画を推進する内容であってほしい。県が行う大きなイベントなので。 (50代・女性)
男女共同参画のナショナルセンターである又エックが残るが、宿泊棟や研修棟が取り壊される計画は非常に残念。埼玉県には現状の又エックを残す努力をしてほしい。素晴らしい資料や研究をより生かせるのも宿泊棟や研修棟があればこそ！！ですから。 (70代・女性)

5 まとめ

埼玉県男女共同参画推進センターが主催した4つの講座を受講した方を対象に、男女共同参画に対する意識調査を行い、276人から回答を得た。

まず、8つの分野で「男女の地位は平等になっているか」の意識を尋ねる質問に対しては、【学校教育】以外のすべての項目で、「男性のほうが優遇」「どちらかといえば男性優遇」と回答があった。

男性はすべての分野で「平等になっている」と回答した割合が女性よりも高くなっているが、【家庭生活】【職場】【政治】【社会通念や風潮(習慣・しきたり)】【社会全体】の5項目では、男性自身も男性のほうが優遇されていると回答している。

こうしたことから、引き続き男女共同参画社会実現のための啓発事業を進めていく必要がある。

次に、「性別によって役割を固定したり、決めたりすること」についての質問に対しては、男女ともに「性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである」の回答が大多数であった(72.1% (女性76.0% 男性65.2%))。

続いて「少子高齢社会において、女性が限定された範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思う」の回答が多くなっており、男性のほうが女性よりもこの選択肢を選んでいる。

社会全体で誰もが能力を発揮して活躍すべきとの認識が高くなっており、今後より一層女性の活躍の場が広がっていくことが望まれる。

「今後どのような分野で、女性の参画が進むべきと考えるか」の質問に対しては、男女ともに「国会、県議会、市町村議会等の議員」と回答した方が8割を超えており、「企業の管理職、労働組合の幹部」「国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職」も7割を超える回答があった。

女性が政治分野により多く進出することが期待されているとともに、就業の場で女性が管理職として活躍することへの期待が高くなっている。

「今後男性と女性がともに社会のあらゆる分野にバランスよく積極的に参画していくために必要なこと」についての質問に対しては、女性は「法律や制度上の見直しを行い、性別による差別につながるものを改めること」の回答が45.9%と最も高かった。

男性は「男女の固定的な役割分担について社会通念、慣習、しきたりを改めること」の回答が50.0%と最も高かった。

女性はより制度面の充実を期待し、男性は社会通念等の見直しの必要性を感じていることがわかる。

また、60代の女性が、他の年齢層と比較すると突出して「男性も女性も経済力を持つこと」の必要性を感じている。(60代女性52.6% 女性全体30.8% 男性全体19.6%)

最後に、「男女共同参画に関する言葉の認知度」を尋ねたところ、【ジェンダー】と【LGBTQ】については、8割以上が「内容を知っている」と回答しており、認知度が高くなっている。

一方で、【政治分野における男女共同参画の推進に関する法律】と【埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例】の認知度は約4分の1にとどまっている。

女性の政治分野への進出を推進するためにも法律の趣旨をより一層周知することが求められる。

また、埼玉県の計画や条例の認知度も全般的に高いとは言えないため、あらゆる機会をとらえて周知していく必要がある。

また、【ルッキズム】や【クオータ制】は年代別に認知度に差がある。

用語については、あらゆる年代・性別の方に正しく理解していただくことが課題である。

県が全庁的に取り組んでいる【ジェンダー主流化】は「知っている」方は43.5%にとどまっているため、県内全体でジェンダー主流化の取組を進めていくためにも、企業向けや市町村向けに理解促進を図るためのセミナーを継続して開催する必要がある。

さらに、一般県民を対象にした2講座と企業・市町村を対象にした2講座の受講者の意識の違いについても考察した。

全般的に企業・市町村を対象にした講座の受講者のほうが、男女共同参画社会に対する平等感や女性の活躍に対する期待感が高いことがわかる。

企業・市町村向けの講座も引き続き実施するとともに、一般県民向けの啓発講座は男女共同参画社会の実現のためにも開催の継続が望まれる。

6 参考

(1) 集計データ

【表1-1】男女の地位の平等感

家庭生活

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体(276)	25.7%	43.5%	18.1%	5.4%	2.9%	3.3%	1.1%
女性(172)	29.1%	47.1%	13.4%	4.7%	1.7%	2.3%	1.7%
男性(92)	15.2%	39.1%	27.2%	7.6%	5.4%	5.4%	0.0%

女性	10～20歳代(7)	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代(11)	18.2%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
	40歳代(19)	26.3%	36.8%	10.5%	15.8%	5.3%	5.3%	0.0%
	50歳代(53)	30.2%	49.1%	7.5%	7.5%	1.9%	3.8%	0.0%
	60歳代(38)	34.2%	47.4%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%
	70歳以上(41)	26.8%	46.3%	17.1%	2.4%	2.4%	0.0%	4.9%

男性	10～20歳代(9)	11.1%	55.6%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%
	30歳代(11)	27.3%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
	40歳代(15)	26.7%	26.7%	33.3%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%
	50歳代(23)	8.7%	43.5%	34.8%	8.7%	0.0%	4.3%	0.0%
	60歳代(26)	11.5%	42.3%	30.8%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%
	70歳以上(7)	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%

学校教育（学習、進学等）

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体(276)	11.2%	33.7%	46.0%	0.4%	0.0%	7.6%	1.1%
女性(172)	12.2%	39.5%	40.7%	0.6%	0.0%	5.2%	1.7%
男性(92)	8.7%	19.6%	58.7%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%

女性	10～20歳代(7)	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代(11)	18.2%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
	40歳代(19)	10.5%	36.8%	52.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代(53)	13.2%	34.0%	43.4%	0.0%	0.0%	9.4%	0.0%
	60歳代(38)	7.9%	52.6%	28.9%	2.6%	0.0%	5.3%	2.6%
	70歳以上(41)	12.2%	34.1%	46.3%	0.0%	0.0%	2.4%	4.9%

男性	10～20歳代(9)	11.1%	33.3%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代(11)	9.1%	18.2%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代(15)	6.7%	26.7%	53.3%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%
	50歳代(23)	13.0%	17.4%	56.5%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%
	60歳代(26)	3.8%	11.5%	61.5%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%
	70歳以上(7)	0.0%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%

職場

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体(276)	25.4%	45.7%	18.5%	4.3%	0.0%	4.3%	1.8%
女性(172)	30.8%	50.0%	13.4%	0.6%	0.0%	2.9%	2.3%
男性(92)	13.0%	39.1%	28.3%	12.0%	0.0%	6.5%	1.1%

女性

10~20歳代(7)	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
30歳代(11)	27.3%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%
40歳代(19)	42.1%	36.8%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代(53)	30.2%	54.7%	15.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代(38)	23.7%	55.3%	15.8%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%
70歳以上(41)	31.7%	53.7%	4.9%	0.0%	0.0%	7.3%	2.4%

男性

10~20歳代(9)	11.1%	55.6%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%
30歳代(11)	18.2%	27.3%	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(15)	6.7%	40.0%	26.7%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%
50歳代(23)	17.4%	21.7%	52.2%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%
60歳代(26)	7.7%	50.0%	26.9%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳以上(7)	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%

自治会や地域活動

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体(276)	30.4%	33.7%	17.4%	1.4%	0.0%	15.6%	1.4%
女性(172)	37.8%	37.8%	9.9%	1.2%	0.0%	11.0%	2.3%
男性(92)	13.0%	27.2%	33.7%	1.1%	0.0%	25.0%	0.0%

女性

10~20歳代(7)	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
30歳代(11)	45.5%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	0.0%
40歳代(19)	47.4%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%	26.3%	0.0%
50歳代(53)	32.1%	47.2%	7.5%	3.8%	0.0%	9.4%	0.0%
60歳代(38)	31.6%	44.7%	10.5%	0.0%	0.0%	10.5%	2.6%
70歳以上(41)	43.9%	34.1%	14.6%	0.0%	0.0%	2.4%	4.9%

男性

10~20歳代(9)	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
30歳代(11)	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%
40歳代(15)	6.7%	33.3%	26.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
50歳代(23)	4.3%	43.5%	34.8%	0.0%	0.0%	17.4%	0.0%
60歳代(26)	15.4%	7.7%	38.5%	3.8%	0.0%	34.6%	0.0%
70歳以上(7)	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%

政治

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体(276)	63.0%	28.3%	5.1%	0.7%	0.0%	2.2%	0.7%
女性(172)	70.3%	25.6%	1.2%	0.6%	0.0%	1.2%	1.2%
男性(92)	45.7%	35.9%	13.0%	1.1%	0.0%	4.3%	0.0%

女性

10~20歳代(7)	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(19)	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代(53)	79.2%	18.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代(38)	60.5%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%
70歳以上(41)	65.9%	26.8%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%

男性

10~20歳代(9)	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
30歳代(11)	63.6%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(15)	33.3%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
50歳代(23)	39.1%	43.5%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代(26)	42.3%	38.5%	7.7%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%
70歳以上(7)	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

法律や制度

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体(276)	29.7%	39.1%	24.3%	1.4%	0.0%	3.3%	2.2%
女性(172)	38.4%	44.8%	11.0%	0.6%	0.0%	1.7%	3.5%
男性(92)	9.8%	31.5%	48.9%	3.3%	0.0%	6.5%	0.0%

女性

10~20歳代(7)	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	54.5%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(19)	52.6%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%
50歳代(53)	37.7%	49.1%	11.3%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代(38)	26.3%	57.9%	7.9%	0.0%	0.0%	2.6%	5.3%
70歳以上(41)	43.9%	36.6%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%

男性

10~20歳代(9)	22.2%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	9.1%	27.3%	36.4%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%
40歳代(15)	13.3%	26.7%	46.7%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%
50歳代(23)	13.0%	26.1%	56.5%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%
60歳代(26)	0.0%	38.5%	53.8%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%
70歳以上(7)	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（習慣・しきたり）
社会通念や風潮

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体(276)	45.7%	46.0%	4.7%	0.0%	0.0%	2.2%	1.4%
女性(172)	53.5%	40.7%	1.2%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%
男性(92)	28.3%	57.6%	12.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%

女性

10～20歳代(7)	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(19)	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代(53)	52.8%	45.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
60歳代(38)	52.6%	39.5%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%
70歳以上(41)	46.3%	39.0%	2.4%	0.0%	0.0%	4.9%	7.3%

男性

10～20歳代(9)	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
30歳代(11)	36.4%	45.5%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
40歳代(15)	46.7%	33.3%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
50歳代(23)	21.7%	60.9%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代(26)	15.4%	73.1%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳以上(7)	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

社会全体

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体(276)	34.1%	52.9%	6.9%	2.2%	0.0%	2.9%	1.1%
女性(172)	41.3%	50.0%	2.9%	1.7%	0.0%	2.3%	1.7%
男性(92)	17.4%	59.8%	15.2%	3.3%	0.0%	4.3%	0.0%

女性

10～20歳代(7)	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(19)	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代(53)	35.8%	54.7%	1.9%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%
60歳代(38)	39.5%	52.6%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%
70歳以上(41)	41.5%	46.3%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	4.9%

男性

10～20歳代(9)	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
30歳代(11)	27.3%	54.5%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(15)	20.0%	46.7%	20.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%
50歳代(23)	13.0%	56.5%	26.1%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%
60歳代(26)	7.7%	69.2%	19.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳以上(7)	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【表2-1】性別役割分担意識

	性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである。	少子高齢社会において、女性に限定された範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思う。	男女の特性に基づいた性別役割分担をした方が効率が良い分野がある。	男女の特性に基づいた性別役割分担は、日本の伝統であると思う。	性別による性別役割分担をどうするかは、社会が介入するべきではなく、個人の自由にさせるべきだ。	性別による固定的役割分担は存在しないと思う。	その他	考えたことがない	無回答
全体(276)	72.1%	13.4%	2.5%	2.2%	5.1%	0.7%	0.7%	0.0%	3.3%
女性(172)	75.0%	11.6%	2.9%	1.2%	4.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
男性(92)	65.2%	16.3%	2.2%	4.3%	6.5%	1.1%	2.2%	0.0%	2.2%
女性	10~20歳代(7)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代(11)	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代(19)	68.4%	21.1%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代(53)	71.7%	15.1%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	1.9%
	60歳代(38)	84.2%	5.3%	2.6%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	2.6%
	70歳以上(41)	68.3%	7.3%	4.9%	0.0%	4.9%	2.4%	0.0%	12.2%
男性	10~20歳代(9)	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代(11)	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代(15)	66.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%
	50歳代(23)	60.9%	13.0%	4.3%	8.7%	8.7%	0.0%	4.3%	0.0%
	60歳代(26)	65.4%	19.2%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%	3.8%
	70歳以上(7)	71.4%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%

【表3-1】特に女性の参画が進むべき分野

	国会、県議会、市町村議会等の議員	国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職	弁護士・医師などの専門職	自治会、PTAなどの役員	企業の管理職、労働組合の幹部	国連などの国際機関	建築業などの女性が少ないと言われている分野の学生	農林水産業従事者	理工系などの女性が少ないと言われている分野の学生	大学、研究所などの研究者	農林業団体などの役職	その他	無回答
全体(276)	85.9%	70.7%	52.5%	44.2%	72.5%	42.4%	37.3%	29.0%	47.5%	46.0%	32.6%	6.9%	2.9%
女性(172)	87.2%	72.1%	57.6%	50.0%	75.0%	46.5%	36.0%	31.4%	45.9%	50.6%	36.6%	7.0%	3.5%
男性(92)	83.7%	67.4%	40.2%	29.3%	65.2%	32.6%	35.9%	21.7%	46.7%	33.7%	22.8%	5.4%	2.2%

女性

	国会、県議会、市町村議会等の議員	国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職	弁護士・医師などの専門職	自治会、PTAなどの役員	企業の管理職、労働組合の幹部	国連などの国際機関	建築業などの女性が少ないと言われている分野の学生	農林水産業従事者	理工系などの女性が少ないと言われている分野の学生	大学、研究所などの研究者	農林業団体などの役職	その他	無回答
女性全体(172)	87.2%	72.1%	57.6%	50.0%	75.0%	46.5%	36.0%	31.4%	45.9%	50.6%	36.6%	7.0%	3.5%
10～20歳代(7)	85.7%	85.7%	57.1%	42.9%	100.0%	42.9%	28.6%	28.6%	57.1%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	100.0%	81.8%	81.8%	54.5%	81.8%	36.4%	27.3%	27.3%	54.5%	72.7%	36.4%	18.2%	0.0%
40歳代(19)	84.2%	52.6%	68.4%	36.8%	89.5%	42.1%	26.3%	31.6%	42.1%	36.8%	31.6%	0.0%	0.0%
50歳代(53)	92.5%	73.6%	64.2%	50.9%	73.6%	47.2%	45.3%	37.7%	52.8%	56.6%	45.3%	9.4%	0.0%
60歳代(38)	81.6%	73.7%	55.3%	50.0%	73.7%	52.6%	47.4%	34.2%	57.9%	50.0%	44.7%	7.9%	5.3%
70歳以上(41)	82.9%	70.7%	39.0%	51.2%	63.4%	43.9%	22.0%	22.0%	24.4%	39.0%	24.4%	2.4%	9.8%

男性

	国会、県議会、市町村議会等の議員	国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職	弁護士・医師などの専門職	自治会、PTAなどの役員	企業の管理職、労働組合の幹部	国連などの国際機関	建築業などの女性が少ないと言われている分野の学生	農林水産業従事者	理工系などの女性が少ないと言われている分野の学生	大学、研究所などの研究者	農林業団体などの役職	その他	無回答
男性全体(92)	83.7%	67.4%	40.2%	29.3%	65.2%	32.6%	35.9%	21.7%	46.7%	33.7%	22.8%	5.4%	2.2%
10～20歳代(9)	100.0%	77.8%	55.6%	44.4%	77.8%	55.6%	55.6%	33.3%	66.7%	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	72.7%	72.7%	54.5%	18.2%	63.6%	45.5%	63.6%	27.3%	63.6%	45.5%	27.3%	0.0%	9.1%
40歳代(15)	86.7%	73.3%	46.7%	20.0%	86.7%	26.7%	33.3%	13.3%	33.3%	33.3%	13.3%	0.0%	6.7%
50歳代(23)	78.3%	60.9%	52.2%	43.5%	69.6%	34.8%	30.4%	21.7%	52.2%	39.1%	30.4%	8.7%	0.0%
60歳代(26)	88.5%	57.7%	15.4%	15.4%	50.0%	19.2%	23.1%	15.4%	26.9%	11.5%	15.4%	7.7%	0.0%
70歳以上(7)	85.7%	85.7%	42.9%	57.1%	42.9%	42.9%	42.9%	42.9%	71.4%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%

【表4-1】男女共同参画社会実現のために必要なこと

	法律等の 見直し	社会通念 等の改め	お互いの 理解、協 力	家庭や学 校での教 育	サービ スの充実	経済力	能力の向 上	性別によ る差別の 解消	一定の割 合の女性 登用	その他	無回答
全体(276)	44.6%	46.7%	31.9%	40.9%	26.1%	26.8%	9.1%	17.0%	18.5%	2.2%	5.4%
女性(172)	45.9%	45.3%	32.0%	43.6%	24.4%	30.8%	7.6%	16.3%	19.8%	2.9%	7.0%
男性(92)	41.3%	50.0%	30.4%	34.8%	29.3%	19.6%	12.0%	19.6%	15.2%	1.1%	3.3%

女性

	法律等の 見直し	社会通念 等の改め	お互いの 理解、協 力	家庭や学 校での教 育	サービ スの充実	経済力	能力の向 上	性別によ る差別の 解消	一定の割 合の女性 登用	その他	無回答
女性全体(172)	45.9%	45.3%	32.0%	43.6%	24.4%	30.8%	7.6%	16.3%	19.8%	2.9%	7.0%
10~20歳代(7)	42.9%	71.4%	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%
30歳代(11)	54.5%	45.5%	27.3%	54.5%	36.4%	9.1%	9.1%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%
40歳代(19)	42.1%	68.4%	47.4%	42.1%	15.8%	21.1%	10.5%	21.1%	10.5%	0.0%	5.3%
50歳代(53)	43.4%	47.2%	24.5%	49.1%	30.2%	32.1%	7.5%	17.0%	20.8%	5.7%	3.8%
60歳代(38)	42.1%	39.5%	34.2%	36.8%	23.7%	52.6%	2.6%	10.5%	13.2%	0.0%	10.5%
70歳以上(41)	53.7%	31.7%	36.6%	41.5%	19.5%	22.0%	12.2%	17.1%	26.8%	4.9%	9.8%

男性

	法律等の 見直し	社会通念 等の改め	お互いの 理解、協 力	家庭や学 校での教 育	サービ スの充実	経済力	能力の向 上	性別によ る差別の 解消	一定の割 合の女性 登用	その他	無回答
男性全体(92)	41.3%	50.0%	30.4%	34.8%	29.3%	19.6%	12.0%	19.6%	15.2%	1.1%	3.3%
10~20歳代(9)	55.6%	55.6%	22.2%	44.4%	55.6%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	54.5%	63.6%	36.4%	36.4%	36.4%	9.1%	9.1%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%
40歳代(15)	40.0%	60.0%	26.7%	13.3%	20.0%	26.7%	0.0%	20.0%	13.3%	0.0%	13.3%
50歳代(23)	39.1%	30.4%	39.1%	43.5%	26.1%	17.4%	21.7%	21.7%	13.0%	0.0%	4.3%
60歳代(26)	34.6%	53.8%	30.8%	30.8%	34.6%	19.2%	7.7%	11.5%	11.5%	3.8%	0.0%
70歳以上(7)	42.9%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	42.9%	42.9%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%

【表5-1】男女共同参画に関する言葉の認知度

男女共同参画社会基本法

女性

男性

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	55.8%	33.3%	6.2%	4.7%
女性(172)	59.9%	29.7%	4.7%	5.8%
男性(92)	48.9%	39.1%	8.7%	3.3%

10~20歳代(7)	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%
40歳代(19)	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%
50歳代(53)	62.3%	30.2%	5.7%	1.9%
60歳代(38)	55.3%	23.7%	7.9%	13.2%
70歳以上(41)	51.2%	36.6%	2.4%	9.8%

10~20歳代(9)	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%
40歳代(15)	40.0%	40.0%	6.7%	13.3%
50歳代(23)	34.8%	52.2%	8.7%	4.3%
60歳代(26)	50.0%	38.5%	11.5%	0.0%
70歳以上(7)	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%

男女雇用機会均等法

女性

男性

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	60.1%	31.2%	4.7%	4.0%
女性(172)	60.5%	31.4%	3.5%	4.7%
男性(92)	60.9%	28.3%	7.6%	3.3%

10~20歳代(7)	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%
40歳代(19)	84.2%	15.8%	0.0%	0.0%
50歳代(53)	67.9%	28.3%	1.9%	1.9%
60歳代(38)	52.6%	28.9%	7.9%	10.5%
70歳以上(41)	46.3%	41.5%	4.9%	7.3%

10~20歳代(9)	77.8%	11.1%	11.1%	0.0%
30歳代(11)	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%
40歳代(15)	60.0%	20.0%	6.7%	13.3%
50歳代(23)	65.2%	30.4%	0.0%	4.3%
60歳代(26)	61.5%	26.9%	11.5%	0.0%
70歳以上(7)	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%

女性活躍推進法

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	38.0%	42.8%	14.1%	5.1%
女性(172)	43.6%	39.0%	12.8%	4.7%
男性(92)	31.5%	45.7%	18.5%	4.3%

女性	10~20歳代(7)	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	30歳代(11)	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%
	40歳代(19)	42.1%	26.3%	31.6%	0.0%
	50歳代(53)	50.9%	39.6%	7.5%	1.9%
	60歳代(38)	42.1%	31.6%	15.8%	10.5%
	70歳以上(41)	34.1%	46.3%	12.2%	7.3%

男性	10~20歳代(9)	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
	30歳代(11)	45.5%	36.4%	18.2%	0.0%
	40歳代(15)	26.7%	53.3%	6.7%	13.3%
	50歳代(23)	34.8%	34.8%	26.1%	4.3%
	60歳代(26)	26.9%	57.7%	11.5%	3.8%
	70歳以上(7)	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%

政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	24.6%	39.9%	29.7%	5.8%
女性(172)	29.7%	41.3%	23.3%	5.8%
男性(92)	17.4%	34.8%	43.5%	4.3%

女性	10~20歳代(7)	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%
	30歳代(11)	36.4%	36.4%	27.3%	0.0%
	40歳代(19)	31.6%	21.1%	47.4%	0.0%
	50歳代(53)	39.6%	37.7%	20.8%	1.9%
	60歳代(38)	23.7%	42.1%	23.7%	10.5%
	70歳以上(41)	22.0%	46.3%	19.5%	12.2%

男性	10~20歳代(9)	33.3%	11.1%	55.6%	0.0%
	30歳代(11)	27.3%	54.5%	18.2%	0.0%
	40歳代(15)	13.3%	26.7%	46.7%	13.3%
	50歳代(23)	13.0%	39.1%	43.5%	4.3%
	60歳代(26)	15.4%	34.6%	46.2%	0.0%
	70歳以上(7)	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%

埼玉県男女共同参画基本計画

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	34.4%	34.8%	25.4%	5.4%
女性(172)	40.7%	30.8%	22.7%	5.8%
男性(92)	22.8%	41.3%	31.5%	4.3%

女性

10~20歳代(7)	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%
30歳代(11)	45.5%	27.3%	27.3%	0.0%
40歳代(19)	31.6%	10.5%	57.9%	0.0%
50歳代(53)	50.9%	30.2%	15.1%	3.8%
60歳代(38)	34.2%	34.2%	21.1%	10.5%
70歳以上(41)	36.6%	39.0%	14.6%	9.8%

男性

10~20歳代(9)	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
30歳代(11)	36.4%	36.4%	27.3%	0.0%
40歳代(15)	13.3%	26.7%	46.7%	13.3%
50歳代(23)	21.7%	43.5%	30.4%	4.3%
60歳代(26)	19.2%	46.2%	30.8%	0.0%
70歳以上(7)	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%

埼玉県の多様性を尊重した社会づくり条例

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	26.1%	30.8%	37.0%	6.2%
女性(172)	30.8%	31.4%	32.0%	5.8%
男性(92)	18.5%	30.4%	45.7%	5.4%

女性

10~20歳代(7)	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%
30歳代(11)	36.4%	27.3%	36.4%	0.0%
40歳代(19)	31.6%	5.3%	63.2%	0.0%
50歳代(53)	49.1%	24.5%	22.6%	3.8%
60歳代(38)	15.8%	44.7%	28.9%	10.5%
70歳以上(41)	19.5%	39.0%	31.7%	9.8%

男性

10~20歳代(9)	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%
30歳代(11)	36.4%	18.2%	45.5%	0.0%
40歳代(15)	6.7%	26.7%	53.3%	13.3%
50歳代(23)	21.7%	30.4%	43.5%	4.3%
60歳代(26)	15.4%	34.6%	42.3%	0.0%
70歳以上(7)	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%

ジェンダー

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	85.1%	8.3%	1.1%	5.4%
女性(172)	85.5%	7.6%	1.2%	5.8%
男性(92)	83.7%	9.8%	1.1%	5.4%

女性

10~20歳代(7)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(19)	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%
50歳代(53)	90.6%	5.7%	0.0%	3.8%
60歳代(38)	76.3%	13.2%	0.0%	10.5%
70歳以上(41)	75.6%	9.8%	4.9%	9.8%

男性

10~20歳代(9)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(15)	73.3%	13.3%	0.0%	13.3%
50歳代(23)	82.6%	13.0%	0.0%	4.3%
60歳代(26)	76.9%	11.5%	3.8%	0.0%
70歳以上(7)	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%

LGBTQ

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	82.6%	10.1%	2.5%	4.7%
女性(172)	81.4%	10.5%	2.9%	5.2%
男性(92)	82.6%	10.9%	2.2%	4.3%

女性

10~20歳代(7)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(19)	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%
50歳代(53)	88.7%	7.5%	0.0%	3.8%
60歳代(38)	78.9%	10.5%	0.0%	10.5%
70歳以上(41)	58.5%	22.0%	12.2%	7.3%

男性

10~20歳代(9)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代(11)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(15)	73.3%	13.3%	0.0%	13.3%
50歳代(23)	73.9%	21.7%	0.0%	4.3%
60歳代(26)	88.5%	3.8%	3.8%	0.0%
70歳以上(7)	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%

アンコンシヤス・バイアス

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	57.2%	15.6%	22.5%	4.7%
女性(172)	58.7%	16.3%	20.3%	4.7%
男性(92)	52.2%	15.2%	28.3%	4.3%

10~20歳代(7)	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%
30歳代(11)	72.7%	0.0%	27.3%	0.0%
40歳代(19)	63.2%	21.1%	15.8%	0.0%
50歳代(53)	67.9%	18.9%	9.4%	3.8%
60歳代(38)	60.5%	10.5%	18.4%	10.5%
70歳以上(41)	39.0%	19.5%	36.6%	4.9%

10~20歳代(9)	66.7%	11.1%	22.2%	0.0%
30歳代(11)	63.6%	18.2%	18.2%	0.0%
40歳代(15)	53.3%	20.0%	13.3%	13.3%
50歳代(23)	43.5%	13.0%	39.1%	4.3%
60歳代(26)	57.7%	15.4%	23.1%	0.0%
70歳以上(7)	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%

ガラスの天井

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	61.6%	18.1%	15.6%	4.7%
女性(172)	65.7%	14.5%	14.5%	5.2%
男性(92)	54.3%	21.7%	19.6%	4.3%

10~20歳代(7)	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%
30歳代(11)	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%
40歳代(19)	68.4%	21.1%	10.5%	0.0%
50歳代(53)	67.9%	17.0%	11.3%	3.8%
60歳代(38)	78.9%	0.0%	10.5%	10.5%
70歳以上(41)	48.8%	17.1%	26.8%	7.3%

10~20歳代(9)	44.4%	22.2%	33.3%	0.0%
30歳代(11)	54.5%	18.2%	27.3%	0.0%
40歳代(15)	46.7%	26.7%	13.3%	13.3%
50歳代(23)	47.8%	34.8%	13.0%	4.3%
60歳代(26)	69.2%	7.7%	19.2%	0.0%
70歳以上(7)	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%

ク
オ
ー
タ
制

	内容を知っている	聞いたことがある が、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	48.6%	21.4%	25.4%	4.7%
女性(172)	54.7%	21.5%	18.6%	5.2%
男性(92)	37.0%	19.6%	39.1%	4.3%

女
性

10~20歳代(7)	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%
30歳代(11)	54.5%	9.1%	36.4%	0.0%
40歳代(19)	52.6%	15.8%	31.6%	0.0%
50歳代(53)	62.3%	18.9%	15.1%	3.8%
60歳代(38)	50.0%	28.9%	10.5%	10.5%
70歳以上(41)	48.8%	22.0%	22.0%	7.3%

男
性

10~20歳代(9)	44.4%	11.1%	44.4%	0.0%
30歳代(11)	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%
40歳代(15)	26.7%	26.7%	33.3%	13.3%
50歳代(23)	30.4%	17.4%	47.8%	4.3%
60歳代(26)	50.0%	11.5%	34.6%	0.0%
70歳以上(7)	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%

ジ
ェ
ン
ダ
ー
主
流
化

	内容を知っている	聞いたことがある が、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	43.5%	28.6%	22.8%	5.1%
女性(172)	46.5%	27.3%	20.9%	5.2%
男性(92)	37.0%	33.7%	25.0%	4.3%

女
性

10~20歳代(7)	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%
30歳代(11)	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%
40歳代(19)	42.1%	26.3%	31.6%	0.0%
50歳代(53)	52.8%	24.5%	18.9%	3.8%
60歳代(38)	42.1%	26.3%	21.1%	10.5%
70歳以上(41)	39.0%	29.3%	24.4%	7.3%

男
性

10~20歳代(9)	55.6%	11.1%	33.3%	0.0%
30歳代(11)	54.5%	27.3%	18.2%	0.0%
40歳代(15)	20.0%	40.0%	26.7%	13.3%
50歳代(23)	26.1%	47.8%	21.7%	4.3%
60歳代(26)	38.5%	34.6%	23.1%	0.0%
70歳以上(7)	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%

	内容を知っている	聞いたことがある が、内容は知らない	知らない	無回答
全体(276)	54.7%	16.3%	24.3%	4.7%
女性(172)	58.7%	16.9%	19.2%	5.2%
男性(92)	45.7%	15.2%	34.8%	4.3%

女性	10~20歳代(7)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代(11)	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%
	40歳代(19)	84.2%	15.8%	0.0%	0.0%
	50歳代(53)	73.6%	17.0%	5.7%	3.8%
	60歳代(38)	44.7%	26.3%	18.4%	10.5%
	70歳以上(41)	29.3%	12.2%	51.2%	7.3%

男性	10~20歳代(9)	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%
	30歳代(11)	63.6%	18.2%	18.2%	0.0%
	40歳代(15)	53.3%	6.7%	26.7%	13.3%
	50歳代(23)	39.1%	21.7%	34.8%	4.3%
	60歳代(26)	38.5%	15.4%	42.3%	0.0%
	70歳以上(7)	28.6%	0.0%	71.4%	0.0%

【表1-2】男女の地位の平等感（講座間比較）

- ・ 講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
- ・ 講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計

家庭生活

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体 (276)	25.7%	43.5%	18.1%	5.4%	2.9%	3.3%	1.1%
講座A(178)	29.2%	42.7%	14.6%	4.5%	3.4%	4.5%	1.1%
講座B (98)	19.4%	44.9%	24.5%	7.1%	2.0%	1.0%	1.0%

学校教育
(学習・進学等)

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体 (276)	11.2%	33.7%	46.0%	0.4%	0.0%	7.6%	1.1%
講座A(178)	12.9%	39.9%	38.8%	0.6%	0.0%	6.7%	1.1%
講座B (98)	8.2%	22.4%	59.2%	0.0%	0.0%	9.2%	1.0%

職場

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体 (276)	25.4%	45.7%	18.5%	4.3%	0.0%	4.3%	1.8%
講座A(178)	30.9%	48.3%	13.5%	0.0%	0.0%	6.2%	1.1%
講座B (98)	15.3%	40.8%	27.6%	12.2%	0.0%	1.0%	3.1%

地域自治
活動や会

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体 (276)	30.4%	33.7%	17.4%	1.4%	0.0%	15.6%	1.4%
講座A(178)	36.0%	36.0%	13.5%	2.2%	0.0%	10.7%	1.7%
講座B (98)	20.4%	29.6%	24.5%	0.0%	0.0%	24.5%	1.0%

政治

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体 (276)	63.0%	28.3%	5.1%	0.7%	0.0%	2.2%	0.7%
講座A(178)	72.5%	23.0%	1.7%	0.6%	0.0%	1.7%	0.6%
講座B (98)	45.9%	37.8%	11.2%	1.0%	0.0%	3.1%	1.0%

法律制度
や

	男性の方が 優遇	どちらか といえば男性 優遇	平等になっ ている	どちらか といえば女性 優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体 (276)	29.7%	39.1%	24.3%	1.4%	0.0%	3.3%	2.2%
講座A(178)	37.6%	41.6%	16.3%	0.6%	0.0%	1.7%	2.2%
講座B (98)	15.3%	34.7%	38.8%	3.1%	0.0%	6.1%	2.0%

社会通念
や風潮

	男性の方が 優遇	どちらかといえ ば男性優遇	平等になっ ている	どちらかといえ ば女性優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体 (276)	45.7%	46.0%	4.7%	0.0%	0.0%	2.2%	1.4%
講座A(178)	52.2%	41.0%	2.2%	0.0%	0.0%	2.8%	1.7%
講座B (98)	33.7%	55.1%	9.2%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%

社会全体

	男性の方が 優遇	どちらかといえ ば男性優遇	平等になっ ている	どちらかといえ ば女性優遇	女性の方が 優遇	わからない	無回答
全体 (276)	34.1%	52.9%	6.9%	2.2%	0.0%	2.9%	1.1%
講座A(178)	41.0%	49.4%	3.4%	1.7%	0.0%	3.4%	1.1%
講座B (98)	21.4%	59.2%	13.3%	3.1%	0.0%	2.0%	1.0%

【表2-2】性別役割分担意識（講座間比較）

・講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
 ・講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計

	性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである。	少子高齢社会において、女性に限られた範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思う。	男女の特性に基づいた性別役割分担をした方が効率がよい分野がある。	男女の特性に基づいた性別役割分担は、日本の伝統であると思う。	性別による性別役割分担をどうするかは、社会が介入するべきではなく、個人の自由にさせるべきだ。	性別による固定的役割分担は存在しないと思う。	その他	考えたことがない	無回答
全体 (276)	72.1%	13.4%	2.5%	2.2%	5.1%	0.7%	0.7%	0.0%	3.3%
講座A(178)	75.8%	9.0%	2.2%	1.7%	6.7%	1.1%	0.6%	0.0%	2.8%
講座B (98)	65.3%	21.4%	3.1%	3.1%	2.0%	0.0%	1.0%	0.0%	4.1%

【表3-2】特に女性の参画が進むべき分野（講座間比較）

・講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
 ・講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計

	国会、県議会、市町村議会等の議員	国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職	弁護士・医師などの専門職	自治会、PTAなどの役員	企業の管理職、労働組合の幹部	国連などの国際機関	建築業などの女性が少ないと言われている分野の学生	農林水産業従事者	理工系などの女性が少ないと言われている分野の学生	大学、研究所などの研究者	農林業団体などの役職	その他	無回答
全体 (276)	85.9%	70.7%	52.5%	44.2%	72.5%	42.4%	37.3%	29.0%	47.5%	46.0%	32.6%	6.9%	3.3%
講座A (178)	88.8%	76.4%	60.1%	53.4%	74.2%	49.4%	40.4%	34.3%	52.8%	56.7%	38.2%	6.7%	3.4%
講座B (98)	80.6%	60.2%	38.8%	27.6%	69.4%	29.6%	31.6%	19.4%	37.8%	26.5%	22.4%	7.1%	3.1%

【表4-2】男女共同参画社会実現のために必要なこと（講座間比較）

・講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
 ・講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計

	法律等の 見直し	社会通念 等の改め	お互いの 理解、協 力	家庭や学 校での教 育	サービス の充実	経済力	能力の向 上	性別によ る差別の 解消	一定の割 合の女性 登用	その他	無回答
全体(276)	44.6%	46.7%	31.9%	40.9%	26.1%	26.8%	9.1%	17.0%	18.5%	2.2%	5.4%
講座A(178)	52.2%	44.9%	32.0%	42.7%	25.8%	28.1%	9.6%	19.1%	22.5%	2.8%	3.4%
講座B(98)	30.6%	50.0%	31.6%	37.8%	26.5%	24.5%	8.2%	13.3%	11.2%	1.0%	9.2%

【表5-2】男女共同参画に関する言葉の認知度（講座間比較）

- ・講座A……男性によるトークセッション、第23回フェスティバル講演会の受講者の総計
- ・講座B……ジェンダー主流化トップセミナー、ジェンダー主流化実務者セミナーの受講者の総計

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
男女共同参画社会基本法				
全体 (276)	55.8%	33.3%	6.2%	4.7%
講座A(178)	55.6%	34.8%	6.7%	2.8%
講座B (98)	56.1%	30.6%	5.1%	8.2%

男女雇用機会均等法				
全体 (276)	60.1%	31.2%	4.7%	4.0%
講座A(178)	56.7%	34.8%	6.2%	2.2%
講座B (98)	66.3%	24.5%	2.0%	7.1%

女性活躍推進法				
全体 (276)	38.0%	42.8%	14.1%	5.1%
講座A(178)	31.5%	48.3%	17.4%	2.8%
講座B (98)	50.0%	32.7%	8.2%	9.2%

政治分野における男女共同参画の推進に関する法律				
全体 (276)	24.6%	39.9%	29.7%	5.8%
講座A(178)	27.0%	41.6%	28.1%	3.4%
講座B (98)	20.4%	36.7%	32.7%	10.2%

埼玉県男女共同参画基本計画				
全体 (276)	34.4%	34.8%	25.4%	5.4%
講座A(178)	33.7%	33.1%	29.8%	3.4%
講座B (98)	35.7%	37.8%	17.3%	9.2%

埼玉県の多様性を尊重した社会づくり条例				
全体 (276)	26.1%	30.8%	37.0%	6.2%
講座A(178)	25.3%	26.4%	44.9%	3.4%
講座B (98)	27.6%	38.8%	22.4%	11.2%

	内容を知っている	聞いたことがある が、内容は知らない	知らない	無回答
ジェンダー				
全体 (276)	85.1%	8.3%	1.1%	5.4%
講座A(178)	87.6%	9.0%	1.1%	2.2%
講座B (98)	80.6%	7.1%	1.0%	11.2%

LGBTQ				
全体 (276)	82.6%	10.1%	2.5%	4.7%
講座A(178)	82.6%	12.4%	3.4%	1.7%
講座B (98)	82.7%	6.1%	1.0%	10.2%

アンコンシャス・バイアス				
全体 (276)	57.2%	15.6%	22.5%	4.7%
講座A(178)	56.2%	15.2%	26.4%	2.2%
講座B (98)	59.2%	16.3%	15.3%	9.2%

ガラスの天井				
全体 (276)	61.6%	18.1%	15.6%	4.7%
講座A(178)	62.4%	19.7%	15.7%	2.2%
講座B (98)	60.2%	15.3%	15.3%	9.2%

クオータ制				
全体 (276)	48.6%	21.4%	25.4%	4.7%
講座A(178)	56.7%	19.7%	21.3%	2.2%
講座B (98)	33.7%	24.5%	32.7%	9.2%

ジェンダー主流化				
全体 (276)	43.5%	28.6%	22.8%	5.1%
講座A(178)	42.1%	27.0%	28.1%	2.8%
講座B (98)	45.9%	31.6%	13.3%	9.2%

ルッキズム				
全体 (276)	54.7%	16.3%	24.3%	4.7%
講座A(178)	63.5%	14.0%	20.2%	2.2%
講座B (98)	38.8%	20.4%	31.6%	9.2%

男女共同参画社会に関するアンケート

こちらのアンケートは、「男女共同参画社会」について、今後の施策検討の参考とさせていただくために実施するものです。調査の趣旨をご理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

- ・調査の結果は、統計的に集計・分析をしますので、個人の回答や個人情報外部に漏れることはありません。
- ・集計・分析に必要となりますので、前ページの(アンケートの)1～3への御回答を併せてお願いいたします。

以下の各設問の該当する項目に○をつけて御回答ください。

各設問で「その他」を選択された場合、差し支えない範囲で ()内に具体的な内容を御記入ください。

問1 現在、男女の地位は平等になっていると思いますか？ 次の(1)～(8)のそれぞれについてあなたの考えに近いものを1～6の中から1つだけ選んで○をつけてください。

	男性の方が 優遇されて いる	どちらか といえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらか といえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わから ない
(1)家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2)学校教育(学習、進学等)	1	2	3	4	5	6
(3)職場	1	2	3	4	5	6
(4)自治会や地域活動	1	2	3	4	5	6
(5)政治	1	2	3	4	5	6
(6)法律や制度	1	2	3	4	5	6
(7)社会通念や風潮(習慣しきたり)	1	2	3	4	5	6
(8)社会全体	1	2	3	4	5	6

問2 「男性は仕事、女性は家庭」「男性がリーダー、女性はアシスタント」といったように、性別の特性によって役割を固定したり、決めたりすることについて、どのように考えますか？あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

- 1.性別にかかわらず、役割を固定せず、個人の能力を発揮できる社会を目指すべきである。
2. 少子高齢社会において、女性が限定された範囲でしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思う。
- 3.男女の特性に基づいた性別役割分担をした方が効率が良い分野がある。
(具体的にどのような分野ですか？)
4. 男女の特性に基づいた性別役割分担は、日本の伝統であると思う。
5. 性別による役割分担をどうするかは、社会が介入するべきではなく、個人の自由にさせるべきだ。
- 6.性別による固定的役割分担は存在しないと思う。
- 7.その他()
- 8.考えたことがない

問3 あなたは、今後どのような分野で、特に女性の参画が進むべきだと思いますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 国会、県議会、市町村議会等の議員 3. 弁護士、医師などの専門職 5. 企業の管理職、労働組合の幹部 7. 建設業などの女性が少ないと言われている職場 9. 理工系などの女性の少ないと言われている分野の学生 11. 農林業団体などの役職 | <ol style="list-style-type: none"> 2. 国の省庁、県庁、市町村の役所の管理職 4. 自治会、PTAなどの役員 6. 国連などの国際機関 8. 農林水産業従事者 10. 大学、研究所などの研究者 12.その他() |
|--|--|

問4 今後、男性も女性も、ともに社会のあらゆる分野にバランスよく積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか？ 次の中から、特に必要だと思うことを3つまで選んで○をつけてください。

1. 法律や制度上の見直しを行い、性別による差別につながるものを改めること
2. 男女の固定的な役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること
3. 男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力すること
4. こどもの時から家庭や学校で男女共同参画について教えること
5. 男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実を図ること
6. 男性も女性も経済力を持つこと
7. 知識・技術の習得など、積極的に能力の向上を図ること
8. 就労の場の待遇に性別による差別がないようにすること
9. 行政や企業などの重要な役職など女性の少ない分野に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
10. その他()

問5 あなたは(1)～(13)の法令や言葉について、知っていますか？ 1～3の中から該当する番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない
(1)男女共同参画社会基本法	1	2	3
(2)雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法)	1	2	3
(3)女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)	1	2	3
(4)政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	1	2	3
(5)埼玉県男女共同参画基本計画	1	2	3
(6)埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例	1	2	3
(7)ジェンダー	1	2	3
(8)LGBTQ	1	2	3
(9)アンコンシャス・バイアス	1	2	3
(10) ガラスの天井	1	2	3
(11) クオータ制	1	2	3
(12) ジェンダー主流化	1	2	3
(13) ルッキズム	1	2	3

問6 男女共同参画を推進するため、御意見や、埼玉県に期待することがありましたら、ご自由にお書きください。

御協力いただき、誠にありがとうございました。

2024年
10月5日(土)

13:30~15:30
(13:00 開場)

定員 120 名 (申込順)

参加無料 保育あり(要申込)

会場 With You さいたま
(埼玉県男女共同参画推進センター)

☒ 後日、動画配信します (要申込)

対談

武田 砂鉄 さん
(ライター)

斉藤 章佳 さん
(精神保健福祉士 / 社会福祉士)

男性によるトークセッション
男らしさと

男尊女卑依存症社会



武田 砂鉄 さん



斉藤 章佳 さん



関連図書展示

期間: 9/2(月)~10/31(木)
場所: 3階 情報ライブラリー

主催

With You さいたま
(埼玉県男女共同参画推進センター)



講師プロフィール

武田 砂鉄（たけだ さてつ）さん

1982年生まれ。出版社勤務を経て、2014年よりライターに。
2015年、『紋切型社会』で第25回 Bunkamura ドゥマゴ文学賞受賞。
他の著書に『日本の気配』（晶文社）、『わかりやすさの罪』（朝日新聞出版）、
『偉い人ほどすぐ逃げる』（文藝春秋）、『マチズモを削り取れ』（集英社）、
『べつに怒ってない』（筑摩書房）、『今日拾った言葉たち』（暮しの手帖社）、
『父ではありませんが 第三者として考える』（集英社）、
『なんかいやな感じ』（講談社）などがある。
週刊誌、ファッション誌、web メディアなどさまざまな
媒体で執筆するほか、ラジオ番組のパーソナリティ
としても活躍している。



斉藤 章佳（さいとう あきよし）さん

所属：大船橋本クリニック精神保健福祉部長（精神保健福祉士／社会福祉士）
1979年滋賀県生まれ。大卒後、アジア最大規模といわれる依存症施設である
榎本クリニックにソーシャルワーカーとして、約20年に渡りアルコール依存症
を中心にギャンブル・薬物・摂食障害・性犯罪・児童虐待・DV・クレプトマニア
など様々なアディクション問題に携わる。
専門は加害者臨床で現在まで3000名以上の性犯罪者の治療に関り、
性犯罪被害者の家族支援も含めた包括的な地域トリートメントに
関する実践・研究・啓発活動に取り組んでいる。
また、都内更生保護施設では長年「酒害・薬害教育プログラム」
の講師をつとめている。
小中学校では薬物乱用防止教育をはじめ、大学でも早期の依存症
教育に積極的に関わっており、全国での講演も含めその活動は幅
広くマスコミでも度々取り上げられている。
東京都痴漢被害実態把握調査委員、
一般社団法人痴漢抑止活動センターアドバイザー。



武田砂鉄さん 斉藤章佳さんにきいてみたいことを事前募集します！

質問は参加申込時に、電子申請（申込フォーム）からお寄せください。
※ 必ず採用されるとは限りません。

締切 9月25日(水)まで

申込み方法

令和6年9月2日(月) 12:30 から電子申請にて申込受付！

会場で参加する

県内在住・在勤・在学の方と、それ以外の方では、
別の申込フォームからの申請となります。

県内在住・在勤・在学の方は
こちらの二次元コードからお申込みください。



上記以外の方は
こちらの二次元コードからお申込みください。



申込締切 令和6年9月30日(月) 17:00 まで

- ※ 定員になり次第、受付を終了します。
- ※ 手話通訳や保育を希望される方は、申込締切が異なります
のでご注意ください。

手話通訳を希望する方 9月20日(金) まで

保育について

- ・ 生後6か月から小学3年生までのお子様をお預かりします。
- ・ 申込時に、お子様の名前（ふりがな）、年齢（月齢）、アレルギーの有無を
お知らせください。
- ・ 申込多数の場合は、お預かりできないことがあります。

保育料

お子様1人につき300円を講演会当日にお支払い
いただきます。

保育申込締切

令和6年9月25日(水) まで

お問合せ

With You さいたま（埼玉県男女共同参画推進センター）

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2-2 ホテルプリランテ武蔵野内

☎ 048-601-3111 ✉ m013111f@pref.saitama.lg.jp

配信動画を見る

講演会終了後、動画配信します。
電子申請（ホームページ、または右下の二次元コードから）
にてお申込みください。
後日、配信 URL をお知らせします。



申込締切 令和6年11月11日(月) 17:00 まで

配信期間 10月11日(金) 13:00 ~ 11月11日(月)

会場のご案内



ホームページ

Facebook



減らす
きちんと捨てる



ジェンダー主流化トップセミナー

埋もれているジェンダー各々の視点を取り入れる「ジェンダー主流化」。
新しい経営のヒントがここにあります。

2024 会場：大宮ソニックシティ市民ホール401・402
10.21 (月) 対象：県内企業・事業所の経営者、管理職の方など
10:00～12:00 定員：180名

申込

埼玉県ホームページからお申込みください。

with You さいたま  10月15日(火)まで (先着順)

終了後動画配信します。(要申込)

配信期間 11月11日(月)～2025年3月24日(月)



無料
要申込



動画
申込

プログラム



挨拶
埼玉県の取組紹介

埼玉県知事
大野 元裕

ジェンダー主流化とは？

事業や組織運営のあらゆる段階において、
固定的性別役割分担や性差別、偏見等が
社会的に作られたことを意識する視点を取
り入れ、ジェンダー格差をもたらす結果に
なっていないかを点検し、改善に取り組ん
でいくことです。



講演
ジェンダー主流化に向けた課題
ジェンダー平等と多様性／
ダイバーシティの推進に向けて

独立行政法人国立女性教育会館
萩原 なつ子 理事長

お茶の水女子大学大学院修士課程修了。博士(学術)
④トヨタ財団アソシエイト・プログラムオフィサー、
宮城県環境生活部次長、武蔵工業大学助教授、
立教大学教授等を経て2022年4月より現職。
また、立教大学名誉教授、NPO法人日本NPOセンター
代表理事、中央教育審議会委員、埼玉県国際交流協会
評議員、埼玉県防災会議委員等を務める他、
兵庫県豊岡市地域啓発アドバイザー、山梨県男女共同
参画統括アドバイザー等、地域の男女共同参画推進に
も尽力している。

お申込み
お問合せ

主 催

with You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)
☎ 048-601-3111 ✉ m013111f@pref.saitama.lg.jp

埼玉県 (一社)埼玉県商工会議所連合会 埼玉県商工会連合会
埼玉県中小企業団体中央会 (一社)埼玉県経営者協会
埼玉経済同友会 (一社)埼玉中小企業家同友会



ジェンダー主流化 実務者向けセミナー

参加
無料

埋もれているジェンダー各々の視点を取り入れる「ジェンダー主流化」
男女の意識や行動等の違いを調査し、事業の改善に取り組んでいる埼玉県と企業の事例を紹介します

2024

11.28(木)

14:00~16:30

対象：民間企業・事業所・市町村等で
事業の企画運営を行う実務担当者

会場：With You さいたま セミナー室

定員：90名

申込

埼玉県ホームページからお申込みください

With You さいたま

11月21日(木)まで(先着順)



会場
申込

終了後、動画配信します(要申込)

配信期間 12月9日(月)~2025年3月24日(月)



動画
申込

プログラム

1.ジェンダー主流化とは

With You さいたま事業コーディネータ

2.埼玉県の取組について

- 事業点検の試行及び全庁展開について
- 取組に対するコメント

独立行政法人国際協力機構(JICA)バングラデシュ事務所 社会開発班
齋藤 有希さん(※ビデオ出演)

3.企業の取組について

白十字株式会社 商品開発本部 マーケティング部
ヘルスケアブランディング課長 柴野 壮史さん

ジェンダー主流化とは？

事業や組織運営のあらゆる段階において、固定的性別役割分担や性差別、偏見等が社会的に作られたことを意識する視点を取り入れ、ジェンダー格差をもたらす結果になっていないかを点検し、改善に取り組んでいくことです。

事前学習について

受講前に「ジェンダー主流化トップセミナー」及び「ジェンダー統計」の講義動画をご覧ください。
動画のURLはお申込みされた方にお知らせします。
また、セミナー当日午前10時から、会場で上記動画を上映しますので、そちらでもご覧いただけます。

お問合せ
会場

With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2-2

さいたま新都心駅から徒歩5分・北与野駅から徒歩6分 ホテルブリランテ武蔵野4階

☎ 048-601-3111 ✉ m013111f@pref.saitama.lg.jp



埼玉県マスコット
「さいたまっち&コバトン」



第23回 With You さいたま フェスティバル講演会



アニメ・キャラクターの ジェンダー観 ～これまでとこれから～

アニメのヒーローやヒロインの描かれ方は
時代とともにどう変化したのか。
その変化はどこに起因しているのか。
動画を視ながら、
ジェンダー平等の視点で紐解き、
これからについて考えます。



定員
100名

参加
無料

保育
要申込

横浜国立大学大学院

都市イノベーション研究院

教授 須川 亜紀子 さん

2025年

2月2日(日) 14:00～16:00(13:30開場)

会場・主催

With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)

※ 動画配信は行いません。

2月1日(土)・2日(日) 10:00～16:30

With You さいたま フェスティバル開催!

男女共同参画を進める団体が日頃の活動を発表します

関連図書展示

12月23日(月)～2月4日(火)

3階 情報ライブラリー



埼玉県マスコット
「さいたまっちゃんコンビ」

アニメ・キャラクターのジェンダー観 ～ これまでとこれから ～

講師

横浜国立大学大学院

都市イノベーション研究院

教授 須川 亜紀子 さん

専門は、アニメーションや2.5次元
舞台などのポピュラー文化論、
オーディエンス／ファン研究。

◇単著

『少女と魔法—ガールヒーローはいかに受容されたのか』
(2013、*2014年日本アニメーション学会賞受賞)、
『2.5次元文化論—舞台、キャラクター、ファンダム』(2021)

◇共著

Shôjo Across Media (2019)、
Contents Tourism and Pop Culture Fandom (2020)、
Idology in Transcultural Perspective (2021)、
『コンテンツツーリズム』(2021)、
War as Entertainment and Contents Tourism in Japan
(2021)

◇編著

Mechademia Second Arc 15:2特集「2.5D Culture」(2023)、
『2.5次元論集』(2025年刊行予定)

◇共編著

『アニメ研究入門<応用編>』(2018)、
『アニメーション文化55のキーワード』(2019)、
『ジブリ・アニメーションの文化学』(2022) など

申込方法 12月20日(金) 12:30から電子申請にて申込みを受け付けます。

▷ 電子申請(右の二次元コード)からお申し込みください。

▷ **締切 令和7年1月27日(月) *定員になり次第、受付を終了します。**

* 動画配信は行いません。



手話通訳や保育の有無により締切が異なります。

▷ 手話通訳を希望する方 1月15日(水)まで

▷ 保育を希望する方 1月23日(木)まで

- ・ 申込時にお子様の名前(ふりがな)、年齢(月齢)、アレルギーの有無をお知らせください。
- ・ 保育サービス利用案内をご確認の上、ご来場ください。
- ・ 保育料:お子様1人につき300円を講座当日にお支払いいただきます。
- ・ 申込み多数の場合は、お預かりできないことがあります。

■お問合せ■

With You さいたま

(埼玉県男女共同参画推進センター)

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2-2
ホテルブリランテ武蔵野3・4F

☎ 048-601-3111

☎ 048-600-3802

▶▶ ホームページ

▶▶ Facebook



さいたま新都心駅から徒歩5分／北与野駅から徒歩6分
*利用者用駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。